

(表紙)

天保十一子年  
町内国分覚  
四月吉日  
塩巻

四谷塩町老丁目

惣人数七百五拾人

家数百九拾四軒

内明店七軒

御伝馬役

内

一、男 三百九拾八人 十六才以上 三百拾四人  
 十五才以下 八十四人  
 一、女 三百五拾式人 十六才以上 式百七拾老人  
 十五才以下 八拾老人

此訳ケ

家持 六人  
 家守 廿人  
 地借 拾七人

天保十一年四月

店借 百四拾四人

父母妻子 四百八十八人

但家持・家守・地借・店借共

掛り人 男 十四人

女 十老人

召仕 男 四十三人

女 七人

拾七人 十九人

三人 十七人

廿九人 拾人

十五人 八人

四人 十九人

九人 廿六人

十五人 十一人

廿六人 十四人

御当地出生

女 拾七人

式人 十八人

三十九人 十六人

廿四人 四人

廿一人

廿一人

七人

八人

改

三百三人

式百九十九人

廿三人

廿人 式百十四人

三十四人

六人

三人 拾人 貳人  
十四人 九人  
十七人 廿六人  
十人

武州在

男 壹人 壹人 壹人 壹人 壹人 壹人 壹人 壹人 壹人  
女 壹人 壹人 壹人 壹人  
拾四人

山城国

男 三人 貳人 貳人 壹人 壹人 壹人 壹人 壹人  
女 壹人 壹人 壹人 壹人  
拾六人

大和国

男 貳人  
女

摂津国

女 男  
拾三人

伊勢国

女 男  
壹人 拾三人  
拾四人

尾張国

女 男  
壹人 貳人 貳人 壹人 壹人 壹人 壹人  
三人 三人  
拾貳人

拾二人

天保十一年四月

相模国

女  
男  
  一人

甲斐国

女  
男  
  一人  
  一人  
  一人  
  一人

ノ  
四人

駿河国

女  
男  
  一人

参河国

女  
男

  一人  
  一人  
  一人

ノ  
改六人  
ノ  
四人

信濃国

女  
男  
  一人  
  一人  
  一人  
  一人  
  一人  
  一人  
  一人  
  一人

ノ  
十一人

常陸国

女  
男  
  一人

上総国

女  
男  
  一人

安房国

女  
男

能登		越後国				下野国		上野国		
女	男	女	男			女	男	女	男	
壹人	七人	三人	貳人	壹人	三人	壹人	貳人	壹人	五人	貳人
	ノ十人	ノ三人	ノ八人							ノ六人

ノ七百五拾壹人	加賀国	遠江国	越中	美濃	紀伊国	
	男	男	男	男	男	男
	三人	壹人	三人	なし	壹人	なし
					三人	三人
						三人
						ノ三人

男 老人

下総国

メ七百四拾七人

右之通巨細相改候処相違無之候、勿論前書人別ニ洩候もの無御座候  
一、切支丹宗門并ニ博奕隠売女之義厳重相改、其外不見届候ものハ  
勿論、家業無之不懃成者ハ等閑ニ不差置、人別外之者ハ不申及、  
受負人無之者逗留不為致、月々人別増減之分別帳面ニ不怠様書  
出し可申候、仍而如件

年号 月日

四谷塩町老丁目

家主 惣名前連印

名主

茂八郎殿

同

孫右衛門殿

天保十一年四月

(表紙)

天保十三年四月  
 人別高書上  
 塩町巻丁目

店借 八拾貳人

父母妻子 三百八拾八人

但家持・家守・地借・店借共

掛り人 男 拾貳人

女 拾三人

召仕 男 四拾三人

女 八人

御当地出生 男 貳百四拾五人

武州在出生 女 貳百五拾四人

伊勢国出生 男 拾三人

尾張国出生 女 拾貳人

三河国出生 男 拾七人

甲斐国出生 女 四人

信濃国出生 男 壹人

後 女 貳人

男 壹人

男 壹人

男 壹人

男 壹人

男 八人

四谷塩町巻丁目 家数 百七拾貳軒

惣人数六百一人 内明店 三拾五軒

御伝馬役

内

一、男 三百拾四人 拾六才以上 貳百四拾貳人

拾五才以下 七拾貳人

一、女 貳百八拾七人 拾六才以上 貳百貳拾七人

拾五才以下 六拾人

此訳ケ

家持 五人

家守 拾七人

地借 三拾三人

前  
遠江国出生

女 八人  
男 四人  
女 貳人

下野国出生

男 壹人  
女 壹人

後  
越後国出生

男 五人  
女 三人

前  
越前国出生

男 壹人  
女 壹人

加賀国出生

男 貳人

能登国出生

男 五人  
女 壹人

右人数ニ洩候もの無御座候、尤御支配違之分相除キ申候、以上

天保十三寅年四月

四谷塩町壹丁目

月行事 要 助

名主 茂八郎

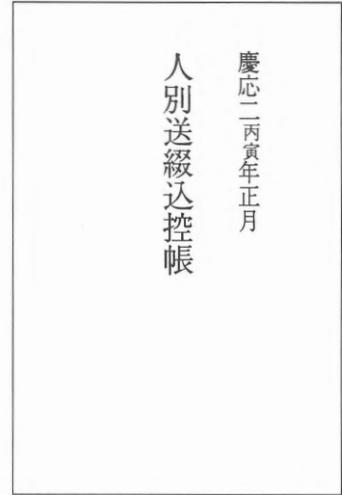
同 孫右衛門

町年寄衆

御役所

天保十三年四月

(表紙)



四谷御簾筒町

五人組持店

金次郎後家 とり

寅四十六才

一、生国御当地<sup>(印)</sup>

浄土宗麻布正信寺

右者此度實殿御店与市方へ同居致候旨申出候ニ付、元町人別相除申送り候、以上

寅四月

右町

五人組 徳右衛門

弥平殿

\*聞済\*

元蛟河橋仲町

五人組持店

芳兵衛

寅二十九才

一、生国御当地<sup>(印)</sup>

右之者此度四谷塩町老丁目惣七店多い方江婿養子ニ差遣候間、元町

人別相除、此段申候、以上

寅五月

右町

名主 又太郎

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

聞済

四谷塩町三丁目

富藏店

生国御当地

日雇稼 秀 藏

一向宗四谷法雲寺

寅廿七才

右之もの此度貴殿御店江引越候旨申出候ニ付、元町人別相除キ、此段申送り候、以上

寅六月六日

右

家主 富 藏

塩町老丁目

家主 弥惣平殿

\*聞濟\*

四谷伝馬町新巻丁目

五人組持店

一、生国御当地

仕立職 与 吉

日蓮宗市谷修行寺

寅四拾貳才

生国右同断

妻 そ め

宗旨寺同断

同四拾三才

生国右同断

俵 米 吉

宗旨寺同断

同拾四才

生国右同断

同 吉三郎

宗旨寺同断

同拾貳才

生国右同断

同 金四郎

宗旨寺同断

同拾 才

生国右同断

同 林次郎

宗旨寺同断

同七 才

生国右同断

弟 甚左衛門

宗旨寺同断

同三拾七才

生国右同断

母 う た

宗旨寺同断

同六拾八才

右之者共儀、此度四谷塩町老丁目貴殿御店江引越候旨申出候ニ付、元町人別相除キ、此段申送り候、以上

寅六月

右町

家主 又兵衛

家主 安平殿

四谷伝馬町新巻丁目

五兵衛店

一、生国御当地

按摩 平兵衛

浄土宗大久保専念寺

寅三拾九才

店請人馬喰町老丁目五人組持店半次郎

生国右同断

妻 た め

宗旨寺同断

同廿七才

生国右同断

父 平右衛門

慶応二年六月

宗旨寺同断

同五拾七才

生国右同断

ため兄 徳次郎

宗旨寺同断

同三拾八才

生国右同断

同居人 藤三郎

日蓮宗伊皿子台町長応寺地中連長院

同三拾壹才

右之者共儀、四谷塩町壹丁目貴殿御店江引越候旨申出候ニ付、元町

人別相除キ、此段申送り候、以上

寅六月

右家主 五兵衛

家主 藤七殿

\*聞濟\*

一、生国大和城下郡脇本村

赤坂田町壹丁目  
与右衛門店

日雇稼 卯之助

浄土宗麻布市兵衛町善覚寺

寅四十八才

店受人青山久保町惣次郎店重兵衛

生国御当地

妻と よ

宗旨寺右断

同五十式才

生国右同断

悴 又 吉

宗旨寺右同断

同廿式才

生国右同断

同 寅次郎

宗旨寺右断

同十九才

生国右同断

姪 た か

宗旨寺右断

同廿六才

生国右同断

同 ゆ き

宗旨寺右断

同式十式才

生国右同断

甥 熊次郎

宗旨寺右断

同十七才

右もの共、此度四谷塩町壹丁目秀次郎店江引越候旨申出候ニ付、元

町人別相除キ、此段申送候、以上

寅六月八日

右町

名主 隼之助

四谷塩町壹丁目

名主 孫右衛門殿

赤坂田町式丁目

金兵衛店

一、生国御当地

乗物職 富五郎

一向宗渋谷宮益町妙祐寺

丑四十式才

店請人赤坂新町式丁目長五郎店喜三郎

生国右同断

妻 た か

宗旨寺右同断

同四十壹才

右之者此度四ツ谷塩町壹丁目惣七店利兵衛方へ同居致候旨申出候

ニ付、元町人別相除キ、此段申送り候、以上

丑六月

名主 孫右衛門殿

右町

名主 隼之助

生国<sup>印</sup>右同断

同居

姉 た つ

同廿五才

右之者此度四谷塩町壹丁目庄三郎店江引越候旨申出候間、元町人別相除、此段申送り候、以上

麴町谷町

市五郎店

日雇稼 徳 治郎

寅六月

右町

名主 次右衛門

一、生国<sup>印</sup>御当地

禅宗四谷南幸町祥山寺

寅廿貳才

名主 孫右衛門殿

店受人麴町十三丁目龜吉店幸太郎

右之もの此度四谷塩町壹丁目嘉七店江引越度旨申出候間、元町人別相除、此段申送り候、上

市谷谷町

家主

治郎兵衛姉

寅六月

右町

名主 清左衛門

一、生国<sup>印</sup>御当地

と み

寅六月

右町

名主 清左衛門

寅三拾六才

四谷塩町壹丁目

名主 孫右衛門殿

右之もの此度四谷塩町壹丁目庄吉店喜三郎方江縁付候二付、元町人別相除、此段申送り候、以上

寅六月

右町

名主 一郎

鮫河橋谷町

忠藏店

日雇稼 金 治郎

其町

名主 孫右衛門殿

一、生国<sup>印</sup>御当地

禅宗龜井戸常光寺

寅廿一才

\*聞濟\*

慶応元年六月〜慶応二年六月



一、生国御当地

五人組持店

小道具渡世 巳太郎

一向宗赤坂澄泉寺

寅三十五才

右之もの此度貴殿御店江引越候ニ付、元町人別相除候間、此段申送り候、以上

寅六月九日

右町

家主 市兵衛

同所塩町老丁目

家主 清吉殿

\*聞濟\*

四谷忍町

五人組持地借

瀧次郎方同居

大工職 源次郎

寅三十九才

同居人 竹右衛門

浄土宗牛込清源寺

同四十二才

生国右同断

悴 清太郎

日蓮宗赤坂常玄寺

同十五才

生国右同断

同 歙次郎

宗旨寺右同断

同十一才

生国右同断

同 久五郎

宗旨寺右同断

同八才

右之もの共、此度貴殿御店江別宅致度旨申出候間、元町人別相除、此段申送り候、以上

寅六月

右町

家主 万五郎

塩町老丁目

家主 勝右衛門殿

元赤坂町

弥三郎店

煙草渡世 清 吉

寅三十三才

右之者此度四谷塩町老丁目清次郎地借彦兵衛方智養子相成候旨申

出候ニ付、元町人別相除キ、此段申送り候、以上

寅六月

右町

家主 茂左衛門

四谷塩町老丁目

家主 孫右衛門殿

\*聞濟\*

武州豊嶋郡金杉村

慶応二年六月〜七月

百姓惣兵衛家借

聞濟

一、生国<sup>印</sup>浅草福井町老丁目

磯 吉

麻布南日下窪町

日蓮宗柏木成子町常円寺

寅五十七才

三右衛門店

生国<sup>印</sup>右同断

妻とよ

勝助娘

宗旨寺右同断

同五十式才

きん

生国<sup>印</sup>本所吉岡町

娘かね

一、生国<sup>印</sup>御当地  
禅宗麻布今井寺町法音寺

寅十二才

宗旨寺右同断

同廿八才

生国<sup>印</sup>小石川下富坂町

伴弥太郎

右之もの此度四ツ谷塩町老丁目秀次郎店卯之助方へ養女ニ差遣し  
候旨申出候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

宗旨寺右同断

同廿五才

寅七月

右町

生国<sup>印</sup>右同断

娘ひやく

名主 孫右衛門殿

名主 文次郎

宗旨寺右同断

同居 同十四才

生国<sup>印</sup>本所三笠町

同居 同四十三才

宗旨寺右同断

同十六才

\*聞濟\*

生国<sup>印</sup>右同断

ひて娘 同十六才

四谷伝馬町式丁目

宗旨寺右同断

同十六才

平八郎店

右者此度四谷塩町老丁目儀左衛門店江引越候旨申出候ニ付、当村人

一、生国<sup>印</sup>御当地

日雇稼 弥助

別相除、此段申送り候、以上

禅宗四谷天龍寺

寅三十七才

寅七月

右村

生国<sup>印</sup>右同断

妻たき

名主 伊八郎

宗旨寺右同断

同三十七才

其町

生国<sup>印</sup>右同断

伴捨吉

名主 孫右衛門殿

宗旨寺右同断

同十六才

生国<sup>印</sup>右同断

同留吉

宗旨寺右同断

同九才

同伊四蔵

宗旨寺右同断

同四才

母もん

宗旨寺右同断

同五十六才

右之もの此度貴殿御店江引越申候ニ付、元町人別相除キ、此段申送り候、以上

寅七月

右家主

平八郎印

四谷塩町壱丁目

家主 珍平殿

\*聞濟\*

四谷伝馬町貳丁目

栄助店

洪光 鉄五郎

寅五十式才

妻 う た

同四十式才

娘 い わ

同廿式才

伴 源八郎

宗旨寺右同断

生国右同断

宗旨寺右同断

生国右同断

慶応二年七月〜八月

宗旨寺右同断

同十五才

娘 ふ く

宗旨寺右同断

同十式才

右之もの共、此度貴殿御店江引越候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

寅七月

右家主

栄助

四谷塩町壱丁目

家主 珍平殿

四谷伊賀町

与吉店

一、生国御当地

車力 関太郎

一向宗千駄ヶ谷瑞円寺

寅三十五才

生国右同断

妻 の ふ

同三十二才

生国武州多摩郡八王子宿

母 た け

同五十六才

右之もの此度貴殿御店江引越申度旨申出候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

寅八月

右町

家主 与吉

四谷塩町壱丁目

家主 忠吉殿

麴町平河町三丁目

弥助店

画師 菊次郎

寅三十才

四ツ谷塩町壱丁目

家主 孫右衛門殿

家主周次郎

後見 庄左衛門

右之者此度四ツ谷塩町壱丁目忠兵衛店へ別宅致度旨申出候ニ付、元町人別相除、此段申送候、以上  
寅八月十三日  
右町

一、生国御当地

日蓮宗青山持法寺

店請人湯島龜有町代地栄次郎店定右衛門

生国右同断

母き の

宗旨寺同断

同六十三才

右之もの此度四谷塩町壱丁目平三郎店へ引越候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

寅八月十一日

右町

名主 与兵衛

四谷塩町壱丁目

名主 孫右衛門殿

寅八月十五日

右町

名主 与兵衛

本銀町壱丁目

亀吉店

庄吉弟

銀次郎

一、生国御当地  
浄土宗靈岸寺地中大徳寺

寅廿二才

四谷塩町壱丁目

名主 孫右衛門殿

桶町貳丁目

金次郎店

一、生国下総千葉郡野田村

寅式拾貳才

右之もの此度離縁致、四谷塩町壱丁目甚右衛門店為吉方江引渡申候間、元町人別相除、此段申送り候、以上

麴町拾貳丁目  
茂兵衛店

鉄五郎妻

き ん

一、生国御当地

重五郎後家

きよ

寅八月

右家主

善兵衛

一向宗西本願寺地中正覺寺

寅四十九才

塩町壱丁目

店受人四ッ谷北伊賀町直吉店豊吉

伴喜三郎

家主 安兵衛殿

生国右同断

同十九才

宗旨寺右同断

同龍太郎

\*聞濟\*

生国右同断

同十三才

芝田町式丁目

宗旨寺右同断

同十三才

家主五郎兵衛妹

右之もの此度四ッ谷塩町壱丁目忠兵衛店江引越候旨申出候ニ付、元

一、生国御当地

こ う

町人別相除、此段申送り候、以上

禅宗四谷北寺町養国寺

寅三十六才

寅八月廿一日

右町

右之もの此度四ッ谷塩町壱丁目家主庄次郎方へ同居致し候旨申出候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

名主 藤五郎

寅四月

右町

名主 十一郎

四ッ谷塩町壱丁目

四谷塩町壱丁目

名主 孫右衛門殿

名主 孫右衛門殿

四谷伝馬町式丁目

名主 孫右衛門殿

善兵衛店

正兵衛後家

\*聞濟\*

一、生国御当地

かね

越町平河町壱丁目統

禅宗深川良光寺

寅四十三才

教授所付町屋敷

右之もの此度貴殿御店江引越候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

清吉地借

候、以上

忠七後家

慶応二年四月〜八月

一、生国御当地

賃仕事 つ や

一向宗赤坂道教寺

寅三十式才

生国右同断

娘 い く

宗旨寺右同断

同十六才

生国右同断

伴 龜三郎

宗旨寺右同断

同十三才

生国右同断

同助三郎

宗旨寺右同断

同十式才

名主 隼之助

四谷塩町壱丁目

名主 孫右衛門殿

\*聞濟\*

四谷伝馬町貳丁目

清兵衛店

髪結職 衆次郎

一、生国御当地

禅宗本所弥勒寺地中乗徳寺

寅三十三才

生国武州豊嶋郡金杉村

妻 し け

宗旨寺右同断

同三十九才

生国御当地

伴 兼 吉

宗旨寺右同断

同七 才

生国右同断

同 銀次郎

宗旨寺右同断

同五 才

生国右同断

同居人 孝次郎

禅宗麻布光林寺

同四十五才

生国右同断

孝次郎妻 い ね

宗旨寺右同断

同五十九才

生国右同断

同人伴 慶次郎

宗旨寺右同断

同三十才

生国右同断

同人娘 り ん

右之もの此度四谷塩町壱丁目平三郎店江引越候旨申出候間、元町人別相除、此段申送候、以上

寅八月

右町

名主 七左衛門

名主 孫右衛門殿

赤坂裏伝馬町壱丁目

平六店

喜兵衛養子

万次郎

寅廿六才

右之もの此度喜兵衛方離縁ニ相成、四ツ谷塩町壱丁目安平店江引越

致候旨申出候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

慶応二寅年八月

右町

宗旨寺右同断

同十九才

\*聞濟\*

右之もの共、此度貴殿御店江引越候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

内藤新宿

寅八月

猪三郎店

寅八月

右家主

伊兵衛

清兵衛

浄土宗四谷西念寺

寅三十五才

四谷塩町壹丁目

一、<sup>(印)</sup>右同断

女房 た か

家主 秀八郎殿

一、<sup>(印)</sup>右同断

同三十八才

一、<sup>(印)</sup>右同断

伴 留太郎

覚

武州桂原

一、<sup>(印)</sup>右同断

同十四才

白金村百姓

一、<sup>(印)</sup>右同断

娘 て つ

吉五郎娘

一、<sup>(印)</sup>右同断

同九才

一、生国御当地

た ま

一、<sup>(印)</sup>右同断

伴 鉄次郎

禅宗ニ而京妙心寺末

寅式拾六才

一、<sup>(印)</sup>右同断

同八才

麻布新堀端光林寺

娘 な み

右之者此度四ッ谷塩町壹丁目家主安平店万兵衛方江縁付候旨申出

同式才

候ニ付、元町人別除之、此段申送り候、以上

右之もの共儀、此度四谷塩町壹丁目甚右衛門地借藤兵衛方へ同居致候旨申出候ニ付、当宿人別差除、此段申送り候、以上

寅八月

白金村

慶応二寅年十一月

名主無之

右宿

年寄 市郎兵衛

名主 高松喜六

右町

四谷塩町壹丁目

御名主 孫右衛門殿

名主 孫右衛門殿

慶応二年八月〜十一月

\*聞済\*

麻布新網町壱丁目

五兵衛店

常吉弟

幸次郎

寅廿六才

一、生国御当地

一向宗善福寺地中西福寺

右之もの四ッ谷塩町壱丁目甚左衛門店へ別宅致候旨申出候間、元町人別相除、此段申送り候、以上

寅十月三日

右町

名主 惣十郎

四ッ谷塩町

名主 孫右衛門殿

\*聞済\*

麴町四丁目

家主

伝兵衛店

同居 音吉

寅五才

一、生国御当地

一向宗西本願寺地中善照寺

右者此度四ッ谷塩町壱丁目勝右衛門店為吉方江養子ニ遣し候旨申出候間、元町人別相除、此段申送り候、以上

寅十一月

右町

名主 与兵衛

四谷塩町壱丁目

名主 孫右衛門殿

\*聞済\*

浅草寺地中

妙音院地借

十兵衛店

日雇 専七郎

寅三十式才

一、生国御当地

禅宗駒込大林寺

店受人

生国右同断

宗旨寺同断

生国右同断

宗旨寺同断

右之者此度四ッ谷塩町壱丁目勝右衛門店へ引越候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

寅九月

寅九月

浅草寺地中

地守 栄次郎

四ッ谷塩町壱丁目

名主 孫右衛門殿

\*聞済\*

南小田原町老丁目

清三郎店

善次郎妻のふ

寅三十八才

娘なを

同十才

\*聞済\*

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

名主 十左衛門

一、生国御当地

一、向宗西本願寺地中勝林寺

生国右同断

宗旨寺右同断

右之もの此度離縁致し、里方四ツ谷塩町老丁目家主忠兵衛方へ引渡候旨申出候ニ付、元帳人別相除キ、此段申<sup>(マツ)</sup>送り候、以上

寅十一月三日

右町

名主 重次郎

四ツ谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

神谷彦左衛門知行所

武州豊島郡幡ヶ谷村

百姓 伊兵衛悱

金之助

宗旨日蓮宗ニ而柏木成子町常円寺

卯式拾三才

右之者今般四ツ谷塩町老丁目忠兵衛店久五郎方へ養子ニ差遣候旨申出候ニ付、当村人別相除、此段申送り候、以上

慶応三卯二月

右村

慶応二年十月〜慶応三年二月

一、生国御当地

右之もの此度貴殿御店藤吉方江縁付候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

寅十月

右町

家主 久次郎

四谷塩町老丁目

家主 忠兵衛殿

\*聞済\*

牛込弘方町

善左衛門店

日雇 友藏

一、生国御当地

天台宗本所南蔵院

寅廿五才

店請人牛込弘方町栄吉店惣吉

生国右同断

母き せ

宗旨寺同断

同五十五才

生国右同断

妹ま す

宗旨寺同断

同十九才

右之もの此度四谷塩町老丁目忠兵衛店引越度旨申出候間、元町人別

相除、此段申送候、以上

寅十二月廿六日

右町

名主 惣左衛門

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

\*聞濟\*

牛込御納戸町

源兵衛店

一、生国御当地

長助娘 て 三つ

寅廿三才

右之者此度四谷塩町老丁目庄吉店長吉方へ縁付候ニ付、元町人別相

除、此段申送候、以上

寅十月十日

右町

名主 惣左衛門

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

\*聞濟\*

高輪北町

五人組持店

忠兵衛同居

一、生国御当地

禅宗芝泉岳寺地中陽寿院

卯廿七歳

右之もの四ツ谷塩町老丁目庄之助店寅吉方江引渡候ニ付、元町人別

相除、此段申送候、以上

卯二月

右町

名主 権左衛門

四谷塩町

名主 孫右衛門殿

\*聞濟\*

本石町老丁目

家持くら後見

半兵衛召仕

一、生国御当地

日蓮宗赤坂常玄寺

源 六

寅廿三才

請人葺屋町幸七店吉五郎

生国同断

下女 す き

宗旨寺請人共源六同断

同十九才

右之者此度永之暇差遣し当時請人四ッ谷塩町卷丁目家主兵藏方へ引渡候間、元町人別相除、此段申送候、以上

寅十二月

右町

名主 伝左衛門

四谷塩町卷丁目

名主 孫右衛門殿

聞濟

山王町

久七店

仏師職 平 藏

卯五拾五才

一、生国御当地  
浄土宗芝式本榎覚真寺

店受人源助町卯兵衛店源次郎

生国同断

妻と め

宗旨寺右同断

同五拾式才

生国同断

(44) い わ

宗旨寺右同断

同拾九才

右之者此度四谷塩町卷丁目鉄五郎店江引越候旨申出候ニ付、元町人

別相除、此段申送り候、以上

慶応二年十二月〜慶応三年三月十日

卯二月八日

右町 名主 平四郎

四谷塩町卷丁目

名主 孫右衛門殿

\*聞濟\*

麴町平河町三丁目

弥助店

一、生国御当地

鋳職 金 吾

一向宗西本願寺地中円福寺

卯四十七才

店受人四谷伝馬町三丁目忠兵衛店伝吉

生国武州荏原郡久ヶ原村

妻は な

宗旨寺右同断

同四十八才

生国御当地

(除) 娘 系 二 ひ

宗旨寺右同断

同廿四才

生国同断

梓 安次郎

宗旨寺右同断

同廿一才

生国同断

(除) 同 八十吉

宗旨寺右同断

同七 才

右之もの此度四谷塩町卷丁目庄吉店長次郎方江同居致候ニ付、元町人別相除キ、此段申送り候、以上

卯三月十日

右町

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

名主 与兵衛

\*聞済\*

天徳寺門前町替地

和七店

一、生国<sup>印</sup>武州荏原郡川崎宿

籠作り 藤五郎

浄土宗同郡大森村教正寺

卯三十三才

生国<sup>印</sup>御当地

妻 つる

宗旨寺右同断

同廿五才

右之もの此度四谷塩町老丁目家主善八方江同居致候旨申出候間、元町人別相除キ、此段申送り候、以上

卯三月

右町

名主 九左衛門

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

赤坂新町三丁目

常吉店

一、生国<sup>印</sup>御当地

古道具渡世 兵 蔵

禅宗四谷養国寺

卯四十一才

店受人赤坂田町五丁目平八店久兵衛

生国<sup>印</sup>右同断

妻 いく

宗旨寺右同断

同三十七才

生国<sup>印</sup>右同断

伴 竹治郎

宗旨寺右同断

同十六才

生国<sup>印</sup>右同断

同定 吉

宗旨寺右同断

同十四才

生国<sup>印</sup>右同断

娘 りう

宗旨寺右同断

同十才

生国<sup>印</sup>右同断

同か ね

宗旨寺右同断

同七才

生国<sup>印</sup>右同断

伴 繁吉

宗旨寺右同断

同四才

生国<sup>印</sup>右同断

兵藏妹 こ う

宗旨右同断

同廿六才

右之もの共此度四ツ谷塩町老丁目安兵衛店江引越候旨申出候ニ付、元町人別相除キ、此段申送り候、以上

卯三月十四日

右町

名主 隼之助

\*聞済\*

浅草御蔵前片町代地

一、生国<sup>(印)</sup>阿波名西郡入田村

平蔵店

紋り渡世 孫兵衛

浄土宗牛込来明寺<sup>(マ)</sup>

卯六十三才

店請人

生国御当地

妻 こ う

宗旨寺右同断

同五十才

生国右同断

娘 い そ

宗旨寺右同断

同三十才

生国右同断

倅 勘 七

宗旨寺右同断

同式十四才

右之者此度四ッ谷塩町壱丁目庄三郎店江引越候旨申出候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

卯三月十五日

右町

名主 平右衛門

四ッ谷塩町壱丁目

名主 孫右衛門殿

\*聞濟\*

店受人麴町九丁目平吉店幸五郎

生国御当地

母 い さ

宗旨寺右同断

同四十五才

右之もの此度四谷塩町壱丁目忠兵衛店へ引越度旨申出候間、元町人別相除、此段申送り候以上

卯三月

右町

名主 清左衛門

四谷塩町壱丁目

名主 孫右衛門殿

\*聞濟\*

麴町平河町三丁目脇

木挽町四丁目裏上納地替地

平兵衛店

日雇 兼 吉

一、生国<sup>(印)</sup>御当地

日蓮宗本所中之郷妙源寺

卯三十一才

右之もの此度四ッ谷塩町壱丁目鉄五郎店江引越候旨申出候間、元町人別相除、此段申送り候、以上

卯三月

右町

名主 七左衛門

名主 孫右衛門殿

麴町谷町

五人組持店

日雇稼 清 吉

卯式拾九才

浄土宗麻布泉正寺<sup>(ママ)</sup>

一、生国<sup>(印)</sup>武蔵豊嶋郡内藤新宿

慶応三年三月〜六月

\*聞濟\*

魏町拾三丁目

五人組持店

羅呉服渡世 嘉七

一、生国<sup>印</sup>美濃各務郡何野村

卯五十五才

一向宗四谷正応寺

妻千代

同御当地

同四十式才

宗旨寺右同断

伴熊次郎

同右同断

同十四才

宗旨寺右同断

娘きやう

同右同断

同九才

右之者四谷塩町老丁目珍平店へ引越候ニ付、元町人別相除、此段申

送り候、以上

卯六月

右町

名主 与兵衛

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

四谷伊賀町

家主源兵衛方同居人

道具渡世 金三郎

一、生国<sup>印</sup>御当地

卯三十一才

禅宗四谷天龍寺

母 さよ

宗旨寺同断

同五十七才

生国右同断

娘はな

宗旨寺同断

同廿四才

右之もの此度御店江別宅致し度由ニ付、元町人別相除キ、此段申送り候、以上

卯七月

右町

家主 源兵衛

四谷塩町老丁目

家主 嘉兵衛殿

\*聞済\*

四谷天龍寺門前

平次郎店

日雇稼 庄五郎

一、生国<sup>印</sup>御当地

卯五十歳

生国同断

妻えい

宗旨寺右同断

同五十才

生国同断

伴若吉

宗旨寺右同断

同十八才

生国同断

娘はる

宗旨寺右同断

同九才

右之者共、此度四谷塩町老丁目安兵衛店へ引越候旨申出候ニ付、元

町人別相除、此段申送り候、以上

卯四月晦日

右町

名主 重五郎

後見 雄之助

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

右之もの共此度四谷塩町老丁目安平店江引越候ニ付、当町人別相除、此段申送り候、以上

卯五月

右町

名主 六右衛門

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

\*聞濟\*

本郷元町

伝次郎店

一、生国<sup>印</sup>武州豊嶋郡佐々木村

禅宗右村福泉寺

刷毛職

升次郎

生国越後古志郡龜村

妻 ね

宗旨寺右同断

同 五十才

生国御当地

俸 万五郎

宗旨寺右同断

同 十三才

生国右同断

同 専 蔵

宗旨寺右同断

同 十 才

生国武州豊嶋郡佐々木村

母 ぞ よ

宗旨寺右同断

同 五十六才

生国右同断

弟 鎌 吉

宗旨寺右同断

同 廿四才

市谷片町

重蔵店

一、生国<sup>印</sup>武州多摩郡八王子宿

日蓮宗麻布長幸寺

市郎兵衛

生国相模大住郡日枝郷横内村

妻 き く

宗旨寺右同断

同 三十六才

生国御当地

俸 金太郎

宗旨寺右同断

同 式拾一才

生国右同断

同 定 吉

宗旨寺右同断

同 七 才

生国右同断

同 市太郎

宗旨寺右同断

同 四 才

生国右同断

弟 豊 吉

宗旨寺右同断

同 四 才

生国右同断

弟 豊 吉

\*安房朝比奈郡中川村百姓利右衛門方ニ奉公住居在之\*

慶心三年四月晦日〜八月十五日

慶応三年四月〜八月

宗旨寺右同断

同四十八才

右之もの共此度四谷塩町老丁目鉄五郎店江引越候旨申出候間、元町人別相除、此段申送り候、以上

卯八月十五日

右町

名主 一郎

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

\*聞済\*

四谷伝馬町老丁目

安兵衛地借

悦太郎兄

一、生国御当地

啓 助

真言宗四谷真乘院

卯廿三才

右之もの此度貴殿地借喜兵衛方江致同居候旨申出候ニ付、元町人別相除候間、此段申送り候、以上

卯八月

右町

家主 安兵衛

同所塩町老丁目

家主 藤七殿

\*聞済\*

湯嶋天神門前町

源兵衛店

一、生国御当地

小道具屋 寅 吉

日蓮宗赤坂円通寺

卯三十四才

店受人本銀町四丁目太七店勝五郎

右者此度四谷塩町老丁目庄吉店江引越候旨申出候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

卯八月

右町

名主 八郎右衛門

其町

名主 孫右衛門殿

\*聞済\*

神田塗師屋敷

孫四郎店

一、生国御当地

蒔絵職 吉 蔵

日蓮宗千駄ヶ谷立法寺

卯四十一才

生国同断

妻 さ た

宗旨寺右同断

同三十七才

右之もの此度四谷塩町老丁目庄吉店へ引越候旨申出候間、元町人別相除、此段申送り候、以上

卯四月

右町

四谷塩町

名主 孫右衛門殿

名主 仁左衛門

同

同五十九才

右之者此度四谷塩町壹丁目清七店巳太郎方江同居致候間、元町人別相除、此段申送候、以上

卯四月

右町

名主 又太郎

\*聞濟\*

元鯨河橋仲町

四谷塩町壹丁目

次助店

名主 孫右衛門殿

平七後家

聞濟

一、生国御当地

浄土宗溜池証泉寺

卯五十八才

松村忠四郎御代官所

店受人四谷塩町壹丁目清七店巳太郎

武州多摩郡

生国同断

娘 たけ

中野村

同

同二十才

百姓次郎右衛門娘

生国同断

同みよ

一、生国当村

とめ

同

同十六才

卯廿四歳

生国同断

同居人 音吉

同

同廿四才

右之もの其御支配四ッ谷塩町<sup>(マ)</sup>三丁目平三郎店菊次郎方江縁附候旨申出候間、元方人別相除、此段申送り候、以上

生国同断

庄太郎

卯八月

右町

同

同廿一才

名主 卯右衛門

生国同断

姉 ふみ

右町

同

同廿八才

名主 孫右衛門殿

生国同断

母 むめ

慶応三年四月〜八月

松村忠四郎御代官所

\*聞濟\*

武州多摩郡中野村

百姓与兵衛店

一、生国御当地

善吉

淨土宗浅草今戸蓮光寺

卯三拾五歳

一、右同断

るい

同廿九歳

一、右同断

常太郎

同十壹歳

一、右同断

同二歳

右之もの共今般四ッ谷塩町壹丁目儀左衛門店借請候趣申出候ニ付、当方人別相除、此段申送り候、以上

卯九月

右村

名主 卯右衛門

右町

名主 孫右衛門殿

\*聞濟\*

麴町拾貳丁目

金造店藤吉方同居人

一、生国甲斐巨摩郡鯉澤村

日雇稼源蔵

日蓮宗浅草妙経寺

右之もの此度四谷塩町壹丁目嘉七店徳次郎方江同居致候間、元町人別相除、此段申送候、以上

卯十月

右町

名主 与兵衛

四谷塩町壹丁目

名主 孫右衛門殿

\*聞濟\*

小石川法伝寺門前

清吉店

一、生国御当地

塗師職 重吉

日蓮宗赤坂清隆寺

辰三十式才

店受人小石川法伝寺門前家主清吉

生国右同断

妻 ころう

宗旨寺右同断

同式十七才

生国右同断

娘 くに

宗旨寺右同断

同三才

生国右同断

弟 政吉

宗旨寺右同断

同式十五才

生国常陸茨城郡水戸上町

母 はる

宗旨寺右同断

同四十九才

右之者共此度四ツ谷塩町老丁目喜兵衛店江引越候旨申出候間、元町人別相除、此段申送候、以上

辰二月

右町

名主 六左衛門

其町

名主 孫右衛門殿

麴町拾式丁目

平三郎店

研職 清太郎

辰廿五才

母 こ う

同五拾七才

一、生国御当地

一向宗西本願寺地中宗林寺

生国右同断

宗旨寺右同断

右之もの此度四谷塩町老丁目喜兵衛店へ引越申候間、元町人別相除、此段申送候、以上

辰三月十五日

右町

名主 与兵衛

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

一、生国御当地

禅宗四谷南伊賀町祥山寺

店受人堀口六軒町兵三郎店啓藏

生国右同断

宗旨寺右同断

生国右同断

宗旨寺右同断

右之者此度四谷塩町老丁目安兵衛店へ引越候ニ付、元町人別相除、此段申送候、以上

辰三月十三日

右町

名主 左 内

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

\*聞濟\*

麴町八丁目

又兵衛店

一、生国越中射水郡本田名村

浄土宗小日向善仁寺

店受人

生国右同断

市兵衛店  
筆商光 米 吉  
辰拾七才

姉 ふ し

同廿三才

懸り人 伯母 た き

同四十五才

右町

名主 左 内

\*聞濟\*

麴町八丁目

又兵衛店

一、生国越中射水郡本田名村

浄土宗小日向善仁寺

店受人

生国右同断

娘 ふ く

\*聞濟\*

市谷七軒町

慶応三年九月、慶応四年三月十五日

宗旨寺右同断

同廿壹歳

後見 雄之助

生国右同断

同ま ち

名主 孫右衛門殿

宗旨寺右同断

同拾 六歳

右之もの此度四谷塩町壹丁目鉄五郎店江引越し候間、元町人別相

除、此段申送り候、以上

聞濟

鯨河橋谷町

卯九月

右町

名主 与兵衛

一、生国御当地

綿打職 兼次郎

四谷塩町壹丁目

名主 孫右衛門殿

浄土宗市ヶ谷京恩寺

久右衛門店

辰四拾才

四谷天龍寺門前

金藏店

生国尾張名古屋鍋屋町

同三十二才

一、生国御当地

浄土宗四谷西念寺

髮結職 福次郎

生国御当地

從弟 き ん

生国武州多摩郡幡ヶ谷村

妻 た き

同

同廿九才

宗旨寺右同断

同三十壹才

\*此者内藤新宿政吉地借兼吉方奉公中人數共相除申候\*

生国同断

懸り人 つ ね

右之もの此度四谷塩町壹丁目鉄五郎店江引越し候旨申出候ニ付、元町

宗旨寺右同断

同五十才

人別相除、此段申送り候、以上

右之もの此度四谷塩町壹丁目鉄五郎店江引越し候旨申出候ニ付、元町

人別相除キ、此段申送り候、以上

辰四月

右町

名主 孫右衛門殿

右町

名主 次右衛門

名主重五郎

元較河橋表町

写

一、生国御当地

平兵衛店

塗師職 定七

浄土宗麻布龍泉寺

辰五十式才

店受人

生国同断

娘きん

宗旨寺右同断

同廿六才

生国同断

同きく

宗旨寺右同断

同拾八才

生国同断

同と き

宗旨寺右同断

同拾六才

右之者此度四谷塩町老丁目鉄五郎店江引越候ニ付、元町人別相除、

此段申送り候、已上

辰三月

右町

名主 又太郎

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

四谷御簞笥町

亀吉店

写

一、生国尾張愛智郡野田村

浄土宗四谷長安寺

大工職 伊助

辰五十二才

生国御当地

妻せい

宗旨寺同断

同四十才

生国右同断

倅鉄五郎

宗旨寺同断

同廿一才

生国右同断

娘いか

宗旨寺同断

同十三才

生国右同断

倅亀吉

宗旨寺同断

同七才

生国右同断

同留吉

宗旨寺同断

同五才

右者此度貴殿御店江引越候旨申出候ニ付、元町人別相除、此段申送り候、以上

辰四月

辰四月

右家主

亀吉

四谷塩町老丁目

家主 鉄五郎殿

麴町拾貳丁目

栄兵衛店

写

一、生国御当地

一向宗四谷真栄寺

店受人四谷坂町八太郎店三五郎

日雇稼 文吉

辰三拾貳才

慶応四年二月〜四月

生国右同断

宗旨寺右同断

同六拾六才

母やゑ

名主 孫右衛門殿

右之もの此度四谷塩町老丁目忠兵衛店へ引越申候間、元町人別相

除、此段申送候、以上

辰二月

右町

名主 与兵衛

四谷塩町老丁目

孫右衛門殿

\*聞済\*

麴町拾三丁目

芳兵衛店

安五郎方同居

か ね

辰廿五歳

母 りん

同六十才

宗旨寺右同断

右之者此度四谷塩町老丁目忠兵衛店文吉方へ縁付候旨、元町人別相除、此段申送り候、以上

辰四月四日

右町

名主 与兵衛

四谷塩町老丁目

一、生国御当地

日蓮宗牛込幸国寺

生国右同断

宗旨寺右同断

生国右同断

宗旨寺右同断

右之もの此度四谷塩町老丁目忠兵衛店江引越候旨申出間、元町人別相除、此段申送り候、以上

辰三月

右町

名主 一郎

其町

名主 孫右衛門殿

\*聞済\*

赤坂裏佐馬町三丁目

治兵衛店

一、生国御当地

浄土宗麻布徳善寺

日雇 三吉

辰三十九才

店受人四谷忍町市五郎店甚二郎

辰三月五日

右町

右之もの此度四ツ谷塩町老丁目庄吉店江引越候旨申出候ニ付、元町

名主 藤五郎

人別相除、此段申送り候、以上

四ツ谷塩町老丁目

辰三月

右町

名主 孫右衛門殿

名主 隼之助

四ツ谷塩町老丁目

\*聞済\*

名主 孫右衛門殿

四谷伝馬町老丁目

八十吉店

\*聞済\*

一、生国御当地

棒手振 吉兵衛

桶町式丁目

浄土宗麻布教善寺

辰七十一才

弥市店

店請人飯倉六本木町家持正次郎

一、生国信濃伊奈郡下平村

時之物売 佐 吉

生国右同断

妻 た つ

浄土宗深川靈岸寺地中本龍院

辰四十六才

宗旨寺右同断

同 五 十 才

店受人田所町半九郎店寅藏

妻 は る

生国右同断

娘 せ い

生国右同断

同 四 十 四 才

宗旨寺右同断

同 三 十 七 才

宗旨寺右同断

娘 み な

生国右同断

同 十 三 才

生国御当地

同 十 六 才

宗旨寺右同断

同 十 式 才

宗旨寺右同断

同 十 三 才

生国右同断

同 十 三 才

右之もの此度貴殿御店江引越候ニ付、元町人別相除候間、此段申送り候、以上

宗旨寺右同断

同 十 三 才

辰三月

右町

右之もの此度四ツ谷塩町老丁目庄吉店三吉方へ同居致候ニ付、元町

家主 八十吉

人別相除、此段申送り候、已上

同所塩町老丁目

慶応四年三月

家主 庄吉殿

\*聞済\*

元飯田町

家主長兵衛同居

善太郎悴

桐油渡世

熊 吉

辰式十三才

兄 善 藏

同式十五才

弟 久次郎

同十五才

一、生国御当地

禅宗麴町九丁目常仙寺

生国右同断

宗旨寺同断

生国右同断

宗旨寺同断

右之者此度四谷塩町老丁目庄三郎店江別宅致候旨申出候間、元町人

別相除、此段申送候、以上

辰四月

右町

名主 五郎兵衛

四谷塩町老丁目

名主無之

組合 孫右衛門殿  
名主

\*聞済\*

麴町拾貳丁目

助左衛門店

日履稼 新兵衛

同三十九才

妻 きよ

同三十七才

娘 やす

同拾壹才

右之もの此度四谷塩町老丁目清吉店へ引越申候間、元町人別相除、

此段申送候、以上

卯九月

右町

名主 与兵衛

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

市谷長延寺門前

卯三郎店

彦十妹

みね孫

一、生国御当地

日蓮宗谷中三寶寺

金七郎

辰八才

右之者此度四谷塩町老丁目忠兵衛店関治郎方へ養子ニ差遣し候ニ  
付、元町人別相除、此段申送候、以上

辰三月

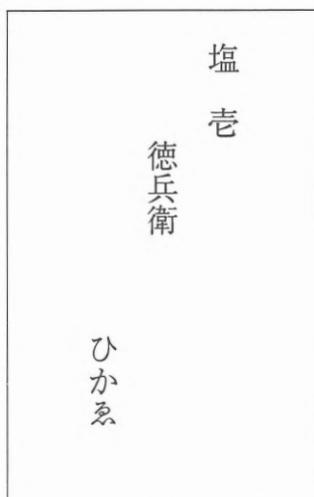
右町

名主 惣左衛門

四谷塩町老丁目

名主 孫右衛門殿

(裏表紙)



慶応四年三月

(表紙)

明治五年壬申三月十九日  
 第三御役所江差出候写  
 工業銘調書上  
 第三大区九小区  
 四谷塩町老町目印

\*工之部\*

- 一、大工職
- 内七軒町 四人
- 一、\*○\*家根職
- 一、\*○\*左官職
- 一、籠 職
- 一、鋸 職
- 一、更紗職
- 一、煙草切職
- 一、手翫職
- 一、\*○\*塗師職
- 一、髮結職
- 一、下駄職

拾八人

- 五人
- 四人
- 三人
- 一人

一、竹飾職

一、\*○\*畳刺職

内七軒町分 式人

一、\*○\*表具職

一、菓子職

一、鍛冶職

一、櫛挽職

一、傘張職

一、\*○\*建具職

一、\*○\*桶 職

一、指物職

一、仕立職

一、正阿弥職

内七軒町分 三人

一、鼈甲職

一、馬具職

七軒町之分

一、摺物職

七軒町之分

\*商之部\*

一人

三人

式人

八人

式人

\*○\*式人

式人

式人

式人

質屋商	三人
内七軒町分 耆人	
一、古着渡世	三人
一、古鉄渡世	一人
一、小道具渡世	四人
一、古道具渡世	一人
一、舶来物商	一人
一、小間物商	三人
内七軒町分 耆人	
一、雜穀商	三人
内七軒町分 耆人	
一、小荒物商	一人
一、太物小売	四人
一、水油小売	一人
一、紙類商	一人
一、炭薪商	三人
一、古本商	三人
一、青物商	一人
一、豆腐商	一人
一、湯屋渡世	一人
一、肴商	三人
内七軒町分 耆人	

醬油小売	一人
一、壳薬	一人
一、雜菓子商	三人
内七軒町分 耆人	
一、菓子渡世	一人
七軒町分	
一、砂糖商	一人
同	
一、煙草商 <small>ひ</small>	一人
同	
一、升酒小売	一人
同	

\*雜業之部\*

一、医師	三人
一、按摩取	三人
内七軒町分 耆人	
一、雜業	六拾三人
内七軒町分 <small>六</small> 人	

四谷塩町耆町目  
拾五番地主  
小林五郎兵衛

明治五年三月十九日

一、同	式拾番地主	吉祥 珍平	一、同	六番借地	渡辺 金五郎
一、同	八番借店	中嶋 松五郎	一、同	拾番借店	杉浦 金次郎
一、同	同	川上 常吉	一、同	拾九番借店	佐藤 為吉
一、同	八番借地	小林 銀次郎			
一、同	九番借地	吉田 喜兵衛			
一、同	拾番借店	八子 辰五郎	一、左官職	四谷塩町老町目 壹番借地	佐藤市郎右衛門
一、同	拾五番借店	小川 市兵衛	一、同	七番借店	渡辺 寅吉
一、同	拾七番借店	宮岡 丑五郎	一、同	拾九番借地	田中 伊三郎
一、同	拾八番借店	田中 伊三郎	一、同	拾七番借店	小峯 熊吉
一、同	同	生方利根次郎			
一、同	拾九番借地	小林 喜太郎		四谷塩町老町目	
一、同	廿式番借地	永井 久五郎	一、籠職	壹番借地	狩野 清吉
一、同	拾五番借地	杉山 弥三郎			
	市谷七軒町				
一、同	壹番借地	木村 米吉	一、鋸職	四谷塩町老町目 壹番借店	丸山 清五郎
一、同	四番店借	加藤 新三郎	一、同	七番借店	除中村 仙太郎
一、同	同	佐藤 作次郎	一、同	拾五番借店	小俣 伊三郎
一、同	五番借地	永田 政吉			
	四谷塩町老町目		一、更紗職	四谷塩町老町目 式番借地	上原 惣七
一、家根職	四番借店	羽多儀左衛門			
一、同	五番借店	林 豊吉		四谷塩町老町目	

一、煙草商

四番借店

佐藤 卯兵衛

四谷塩町老丁目

一、畳刺

八番借店

石川 政吉

一、手翫職

四谷塩町老丁目

五番借地

小野 忠兵衛

市谷七軒町

一、同

壹番借地

水野平七右衛門

四谷塩町老丁目

一、同

同 借店

小嶋 重五郎

一、塗師職

七番借地

\*○\*堰 沢 庄吉

一、同

八番借店

\*○\*鈴木 米八

四谷塩町老丁目

一、同

拾番借店

\*○\*内山 定七

一、表具職

八番借店

\*○\*竹内 金次郎

一、同

拾七番借店

\*○\*野田 桑次郎

一、同

拾八番借店

\*○\*中川 伊之助

一、同

拾八番借店

\*○\*小林 重吉

四谷塩町老丁目

四谷塩町老丁目

一、菓子職

九番借店

\*○\*川上 松五郎

一、髮結職

七番借店

中村 長次郎

一、同

同

\*○\*中川 清吉

一、同

拾番借店

福田 福太郎

一、同

同

多所 福太郎

四谷塩町老丁目

一、鍛冶職

拾番借店

金子 吉之助

四谷塩町老丁目

一、下駄職

七番借店

吉田 末吉

四谷塩町老丁目

一、櫛挽職

拾番借店

中村 卯之助

四谷塩町老丁目

一、竹篩職

七番借店

\*○\*戸谷 富蔵

四谷塩町老丁目

明治五年三月十九日

一、傘張職

一、同

拾貳番借店 白鳥惣左衛門  
廿番借店 守谷 誠助  
四谷塩町壹丁目

一、同

一、正阿弥職

同 \*○\*花前 又蔵  
廿番借店 \*○\*佐竹 総之助  
市谷七軒町

一、建具職

拾三番借店 \*○\*荒川 仙五郎  
四谷塩町壹丁目

一、同

一、同

一、同

五番借店 \*○\*弓木 庄之助  
同 \*○\*石黒 円次郎  
同 \*○\*伊藤 兼助

一、桶職

拾三番借地 新貝 定吉  
拾六番借店 小林 伊之助

一、鼈甲職

四谷塩町壹丁目  
廿壹番借店 \*○\*山口安右衛門

一、指物職

拾三番借店 安藤 藤兵衛  
貳拾番借店 加藤 七五郎

一、馬具職

市谷七軒町  
壹番借地 \*○\*松崎 政吉

一、仕立職

四谷塩町壹丁目  
拾七番借店 鈴木 与吉  
市谷七軒町

一、摺物師

六番借店 比留間喜太郎  
市谷七軒町

一、同

五番借店 松島 国五郎

一、正阿弥職

一、同

一、同

四谷塩町壹丁目

拾七番借店 \*○\*斎藤 重八  
拾八番借店 \*○\*鹿目 恒八

同 \*○\*中嶋八十之助

一、質屋

第三大区九小区  
四谷塩町壹丁目  
廿壹番地主  
富山小左衛門  
勢州住宅二付  
出店主 富山 房三郎

一、同

拾式番借地  
市谷七軒町

藤原 藤兵衛

一、同

貳番地主  
四谷塩町老町目

岡村 善五郎

古着渡世

同

拾式番借地  
廿式番借地

漆原 友次郎  
田中 伊兵衛

古鉄渡世

四谷塩町老町目

辻元 金蔵

小道具渡世

四谷塩町老町目

桜井弥右衛門

同

七番借店

樋口 虎吉

同

拾九番借地

松村 藤兵衛

同

拾番借地

野崎 重兵衛

古道具渡世

四谷塩町老町目

須長 庄三郎

舶来物小売

四谷塩町老町目

一、唐物商

壹番借地

国友 小三郎

一、小間物商

四谷塩町老町目  
五番借店  
市谷七軒町

\*○\*清水 新兵衛

一、同

四番店借マカ

\*○\*鈴木 市兵衛

雜穀商

四谷塩町老町目

拾番地主

下田 惣吉

同

市谷七軒町

貳番地主

岡村 善五郎

小荒物商

四谷塩町老町目

拾式番借店

\*○\*鈴木 鉄五郎

太物小売

四谷塩町老町目

拾式番借店

\*○\*野嶋 林蔵

同

拾九番借地

\*○\*丹羽 孝助

同

貳拾番借店

\*○\*井上 利助

太物小売

拾番借地

\*○\*高橋 庄次郎

一、水油小売

四谷塩町老町目

拾式番借地

\*○\*市川甚右衛門

明治五年三月十九日

一、紙類商

四谷塩町老町目

拾貳番借地 \*○\*市川甚右衛門

一、肴商

拾八番借地

\*○\*伊藤 清次郎

一、同

五番借店

\*○\*須長 忠次郎

一、同

六番借店

\*○\*吉安 龜次郎

四谷塩町老町目

炭薪商

九番地主

\*○\*山田 藤七

四谷塩町老町目

同

拾貳番借店

\*○\*中野 長吉

一、売菓

拾八番借店

千葉 文六

四谷塩町老町目

一、古本商

拾番借店

栗山 正作

第三大区九小区

四谷塩町老町目

一、同

廿番借地

牧田 嘉七

廿番地主

富山小左衛門

四谷塩町老町目

一、青物商

拾三番借地

\*○\*小川 与惣次

勢州住宅二付

出店主

富山 房三郎

四谷塩町老町目

豆腐商

拾五番借地

\*○\*高藤 吉五郎

四谷塩町老町目

廿番借店

\*○\*服部 条次郎

一、同

同 借地

\*○\*河合 清吉

四谷塩町老町目

一、湯屋

拾六番借地

\*○\*清水 万蔵

一、同

四番店借

\*○\*大岡 永助

四谷塩町老町目

市谷七軒町

一、菓子渡世

壹番地主 \*○\*山本 久兵衛

一、雜業

四谷塩町壹町目  
壹番借地  
木村 新兵衛

一、砂糖商

市谷七軒町  
四番地主  
繁沢 庄兵衛

一、同

同  
式番借地  
佐藤 金次郎

市谷七軒町

一、煙草商

五番借地 \*○\*荒川 清五郎

一、同

三番地主  
富田 清兵衛

市谷七軒町

一、升酒小売

五番借地 \*○\*岡崎 三次郎

一、同

四番借地  
吉岡 民蔵

四谷塩町壹町目

一、醫師

三番借地  
神取 昌次郎

一、同

同  
五番借地  
川本 久次郎

一、同

拾壹番地  
大村 円石

一、同

同  
安村 兵蔵

一、同

拾八番借地  
梅田 重兵衛

一、同

同  
渡辺銀蔵後家  
鈴木吉五郎後家

四谷塩町壹町目

一、按摩取

七番借地  
芝本 金弥

一、同

同  
石坂 勇蔵

一、同

拾番借地  
麻川 遠庵

一、雜業

同  
吉野 辰蔵

市谷七軒町

一、同

六番店借  
大浦 相ノ一

一、同

同  
七番借地  
加藤 幸次郎

一、同

同  
後藤 彦七

一、同

同  
田中 藤蔵

一、同

同  
矢部 松五郎

明治五年三月十九日



一、雑業

壹番借地

福沢 吉五郎

市谷七軒町

四番店借(マ)

福島勘兵衛後家

五番店借(マ)

ひ さ

同

久保田岩次郎

同

吉岡清次郎後家

六番借店

と め

五番借店

荏原 忠八

四番借店

飯田 鎌吉

三番借店

福嶋 吉之助

拾六番借店(マ)

白井 栄助

同

佐久間 吉蔵

明治五年三月十九日

(豎帳・表紙白紙・諸願書綴留帳)

家族書

自明治二已年漢学修行ニ付 静岡県士族

第五十三区徳川正三位私邸寄留之処 小学ニ校句読試補

明治四年十一月十九日移転寄留

幼稚手跡指南

当時松平正二位廷賢人

長野 猪十郎

未五十四歳

通習 朝五時より八時迄

男 何人

女 何人

合 何人

右之通御座候、以上

辛未十二月(マヅ)日

長野 猪十郎(印)

小野 久平

未三十七

母 陽 寿

同六十二

妻 よ ね

同三十

伴 福大郎(マヅ)

同 四

東京出生 下女 ろ く

同十 六

合五人

男貳人

女三人

四谷表塩町卷丁目五番地寓居

未十一月

小野 久平

静岡県士族

長野 猪十郎

未五十四歳

通習 朝五時より八時迄

男 何人

女 何人

合 何人

右之通御座候、以上

辛未十二月(マヅ)日

長野 猪十郎(印)

第五拾七区之内

四谷塩町卷町目

一、戸 数 凡百六拾戸

一、人 員イヌ 凡六百六人

元藩邸無之

附属地武家方

一、戸 数 六戸

一、人 員 四拾五人

右之通ニ御座候、以上

明治四年辛未八月廿日

右町 町用掛

原 徳兵衛

四ツ谷塩町老町目

拾八番地面 元差配人

喜兵衛

右之者実直相当之ものニ付、地守申附置被致候間、此段申上候、以上

庚午三年

十二月

長谷川町 式十八番地主町人

村越庄左衛門

代 青葉武助

式拾四番組

御扱所

小日向三軒町地主町人

木平長兵衛所持

四ツ谷塩町老丁目一番地所

同所老番地借町人

狩野 清吉

右之者此度地守申付度、依之此段御届申上候、以上

明治三年十一月廿七日

右地主

木平 長兵衛

式拾四番組

町年寄衆中

市谷七軒町 四番地店借

鈴木 市兵衛

右者市谷七軒町四番地所持致候処、今般差配人御廃止之折柄、商用ニ而度々他行致、直進退行届兼候ニ付、前書之もの江地守申付度、此もの実赫之者ニ御座候間、此段申上候、以上

明治三年十二月

市谷七軒町四番

地主 熊沢 庄兵衛

町年寄

衆中

市谷七軒町 五番地店借

清水 弥兵衛

右者市谷七軒町五番・六番之地面所持致候処、今般差配人御廃止ニ付、直進退行届兼候ニ付、前書之ものへ地守申付度人撰致候得共、篤美ニ付此段申上候、以上

明治三年十二月

万町 拾番地主

村形 善兵衛

式拾四番組

町年寄御中

四ツ谷塩町老丁目

拾八番借地

明治三年十一月二十七日、明治四年九月十二日

清治郎

右者四ツ谷塩町壹丁目貳拾貳番所持地面、直進退行届兼候間、右清治郎儀実直儘成者ニ付、地面内取締として地守相附申度、此段申上候

右地主

四ツ谷塩町壹丁目

貳拾貳番地主

鹿島利右衛門

未九月十二日

秋山 達藏印

〔貼紙〕  
旧鹿兒島藩

御親兵

第二ノ一番小隊

川上要市

乍恐以書付奉申上候

四谷塩町壹丁目

拾六番借店罷在候

御親兵

陸軍中尉

川上要市

右御仁方ニ而昨九日暮六ツ時頃、表入口格子戸\*建寄有之候\*内ニ掛置候御所持之左之

一、金巾蠟引筒袖桐油 貳枚

内

壹枚印無之

壹枚者裏ニ左之通墨ニ而印有之

旧鹿兒嶋藩

御親兵

第二ノ一番小隊

川上要市

右品紛失仕候旨被申聞候間、依之此段御訴奉申上候、以上

辛未九月十日

四谷塩町壹丁目

町用掛

山田 金兵衛

第三大区

御取締所

第三大区六小区

御兵隊屯所

牛込通寺町

禪宗

阿州屯所ニ相成居場所

保善寺

但潜戸附

同所喜久井町

日蓮宗

第三大区

元沼田屯所ニ相成居候場所

本性寺

御取締

御出張所

右小区中央之内ニ御場所無御座候ニ付、此式ヶ寺者手広ニ而御用并相

成、就中本性寺義者御用相成候御場所者売居ニ致候而茂差支無之趣申

聞候間、御検査之上御取極奉願上候、以上

今般戸籍之儀ニ付御布之趣も有之候ニ付、当県籍家族<sup>連</sup>之もの病氣等

ニ而管轄地移住不致、療養中其方預り罷在候もの共至急取調、其筋

江相届可申ニ付、別紙両通案文之振合ヲ以、美濃紙江相認、式通ツ、

未九月

六小区

中年寄

夏目 小兵衛

辛未十月十八日

静岡県

庶務掛

乍恐以書付御訴奉申上候

一、四谷塩町耆町目拾五番借地彫物職小俣伊三郎奉申上候、今晚六

ツ時頃起出見候処、表入口雨戸外江立置候格子戸三枚、昨夜刻限

不知紛失仕候、依之此段御訴奉申上候、以上

静岡県士族

明治四年辛未十月十七日

四谷塩町耆町目

何之誰

拾五番借地

小俣 伊三郎

父 誰

町用掛

山田 金兵衛

自干支月病氣ニ付、療養中寄留

妻 誰

一、格子戸三枚

幾男 誰

明治四年九月〜十月十八日

合男何人

女何人

從者 誰

婢 誰

右戸主

第何区居所

何職

何之誰 印

何管轄地

何国何郡何村町敷

職行何

何之誰

自干支月雇人ニ付寄留

從者

僕婢 誰

右備主

静岡県士族

何之誰

家族誰

戸主

職行

何之誰 印

四谷壇町老町目

式拾番借店

日雇稼

\*当九月婦商人籍之者\*

一、三人暮

佐竹 惣之助

未廿七才

母 たつ

同五拾貳才

姉 ひて

同三拾老才

右惣之助義者若代会津郡若松生出ニ而当店ニ日雇稼致シ罷在候処、  
当九月下旬頃より脚氣相煩倒与打臥罷在候ニ付、母たつ姉ひて兩人  
ニ而代々看病之間合賃仕事宮候得共、聊之義ニ而薬用手当ニ差支必至  
与及困窮候ニ付、地守并店請人同町拾八番借店鹿目恒八義懇意合之  
好身ヲ以、度々見繼候得共、是又貧窮者ニ而此上行届不申、外ニ見繼  
遣候身寄も無之、実々困窮取続兼候者ニ御座候  
右私見分吟味仕候処、書面之通御座候間、御救被成下置候様奉願上  
候、以上

明治四年辛未十二月三日

第三大区九小区

戸長

深野 長兵衛

町

御会所

辛未十二月三日頂戴仕候

一、白米 壹斗五升  
錢 〆 〆

前書之通御救米錢被下置、難有頂戴仕候、且地主・店請人之義者、店ちん其外諸人用等ニ決而引去申間敷旨被仰聞承知仕候、依之一同連印仕置差出候処、仍如件

明治四年辛未十二月三日

当人	佐竹	惣之助
地主	吉祥	珍平
店請人	鹿目	恒八
町用掛	原	徳兵衛 <sup>印</sup>
戸長	衆中	
副戸長		

乍恐以書付奉申上候

一、四谷塩町老町目廿式番借地大工職長井久五郎奉申上候、去未十二月中大工道具被取候義有之哉之旨御尋ニ御座候

此段去未十二月中私義者、山下御門内元鍋嶋邸内江職業ニ罷越、私妻いく義留守為致置候処、同日昼四ツ時頃市谷本村町ニ而同職長与申者私留守宅江参り、私江嘶し致置候間、道具箱相渡候様申聞候間、相違も有之間敷与存相渡候旨申聞候間、取

明治四年十二月三日、明治五年正月十二日

調候処、左之

一、仲ヶ間鑑札	壹枚
一、曲尺	壹挺
一、赤壺	壹ツ
一、のみ	拾四本
一、かんな	七枚
一、大鋸	壹枚
一、中鋸	三枚
一、挽廻し	三枚
一、釘抜	壹挺
一、げんのう	壹挺
一、小刀	壹本
一、ヤスリ	壹丁
一、道具箱	壹ツ
メ 三拾七品	

右品々道具箱ニ入候佧同人江相渡候旨、私帰宅致候処、前段之始末申聞驚右様之義無之、左候得者、全被取候義与奉存候、然ル処今般盜賊御召補ニ相成、今日私被召出右始末御調受驚奉恐入候、右

御尋ニ付奉申上候通相違無御座候間、此段御聞濟被成下置候様奉願上候、以上

明治五年壬申正月十二日

四谷塩町老町目

明治五年正月十二日～二十五日

廿式番借地

町用掛

長井 金之助  
原 徳兵衛

町御会所

東京

御裁判所

明治五年壬申正月廿五日

一、白米老斗

錢貳貫貳百文

前書之通、御救米錢被下置、難有頂戴仕、早速当人江相渡可申候、

且店賃其外諸入用等ニ決而引去申間敷旨被仰渡奉畏候、依之御請書

差出申候処、仍如件

明治五年壬申正月廿五日

四谷塩町老町目

八番地守

堰沢 庄吉<sup>印</sup>

\*去年四月戸籍書上之内\*

四谷塩町老町目

八番借店

一、式人暮

按摩取

芝本 金弥  
申三拾老才

内老人相煩罷在

妻 た き

同三拾才

右金弥義者東京出生ニ而当店ニ按摩取致シ罷在候処、当正月五日頃

より傷寒相煩倒与打臥罷在候ニ付、妻たき義看病之間合賃仕事宮候

得共、聊之義ニ而日々暮方薬用手当ニ差支、必至与及困窮候ニ付、地

守并店請人同町五番借店後藤彦七義懇意合之好身ヲ以、度々見繼遣

候得共、是又貧窮者ニ而、此上行届不申、外ニ見繼可遣身寄無之、実

々困窮取統兼候者ニ御座候、右私見分吟味仕候処、書面之通御座候

間、御救被成下置候様奉願上候、以上

明治五年壬申正月廿五日

第三大区九小区

戸長

深野 長兵衛

同町五番借店

後藤 彦七<sup>印</sup>

町用掛中

四谷塩町老町目

一、戸数百六拾五戸

一、人員六百廿五人

一、聞小間七拾八間四分

一、町年寄 老入

一、町用掛 式人

右之通り取調、此段申上候、以上

壬申正月廿一日

右町

町用掛

原 徳兵衛

定臨

金式分ト

メ 銀六百九拾九匁四分六リ

錢六百五十三匁六文

皆銀七百六拾八匁三分式厘

右ヲ七拾八間四分ニ割

老小間ニ付 銀九匁八分ツ、

右之通、相違無御座候、以上

壬申三月五日

右町用掛

原 徳兵衛

四谷塩町老町目

壬申二月分

一、銀 四百式拾匁

町用掛給料

一、同 百廿五匁四分四厘

積金

一同 三拾匁

番人給分

一、同 廿式匁五分

自身番地代

一、同 老匁式分

茶代

一、同 四匁四分七リ

市谷時之鐘割

一、同 老匁

市谷芥せん

一、同 五拾四匁八分八リ

扱所入用割

一、金 式分ト五百四拾四文

炭四表代

一、錢 三貫文

蠟燭代

一、同 式貫七百七拾文

水油七合代

一、銀 式拾四匁六分

半紙式拾狀代

一、錢 七拾式文

小買物代

一、銀 拾匁

地券其外小買物代

一、銀 五匁也

\*筆墨代\*  
市谷芥せん

壬申二月分

第三大区九小区  
四谷塩町老町目

一、銀 四百式拾匁

町用掛給料

一、同 百廿五匁四分四リ

積金

一、同 三拾匁

定番給分

一、同 百三拾七匁九分七リ

紙・筆・墨其外小買物

一、同 五拾四匁八分八リ

扱所入用

定臨

メ 銀七百六拾七匁四分四リ

右ヲ七拾八間四分ニ割

老小間ニ付 銀九匁八分ツ、

明治五年正月二十一日〜三月八日

明治五年三月八日〜二十七日

右之通相違無御座候、以上

壬申三月八日

右町用掛

原 徳兵衛

麴町八丁目

拾老番借店

願人 下田 惣吉

店請人 小林 作兵衛

四谷塩町老町目

拾番借店

前書之通申出候間、取調候処相違無御座候間、御見分之上御救御願立被成下置候様奉願上候、以上

一、三人暮

日雇稼

村田 勝五郎

右

内老人相煩

申廿三才

町用掛

原 徳兵衛

壬申三月廿七日頂戴仕候

老斗五升 当人俄盲目ニ付

同拾八才

戸長

式貫八百文 老貫五百文

母 し け

深野長兵衛殿

白米老斗五升

同五拾七才

合 錢四貫三百文

右勝五郎義者、東京出生ニ而当店ニ日雇稼罷在候処、当正月中旬頃より瘡毒相煩倒与打臥罷在候処、此節両眼更ニ相見不申、俄ニ盲目ニ相成候間、妹やゑ并母しけ替々看病之間合賃仕事當候得共、聊之義ニ而日々暮方薬用手当ニ差支、必至与及困窮候ニ付、地守并店請人麴町八丁目拾老番借店小林作兵衛義も懇意合之好身ヲ以、是迄度々見繼遣候得共、是又貧窮者ニ而此上行届不申、外ニ見繼遣候身寄も無之、実ニ困窮取続兼候者ニ御座候

明治五年壬申三月廿七日

右

願人 下田 惣吉

店受人 小林 作兵衛

町用掛 原 徳兵衛㊦

深野長兵衛殿

明治五年壬申三月廿日

右町

地守

壬申

第三大区九小区

地守

三分分

四谷塩町老町目

一、銀 四百貳拾匁 町用掛給料

一、同 百廿五匁四分四り 積金

一、同 三拾匁 定番給分

一、同 百五拾九匁九分五り 紙・筆・墨其外小買物

内訳

銀 廿七匁三分 蠟燭老箱代

同 拾老匁 筆・墨代

銀 廿八匁五分 半紙三拾狀代

同 廿貳匁五分 炭貳表代

同 貳拾匁七分八り 水油八合代

同 廿貳匁五分 自身番地代

同 老匁 市谷芥せん

同 四匁四分七り 同 時の鐘割

同 老匁貳分 煎茶代

同 六分 小買物代

同 貳拾匁老分 沽券減高調ニ付持寄ちん

一、銀 六拾四匁貳分九厘 扱所入用

一、銀 七百九拾九匁六分八厘

一、銀 七百九拾九匁六分八厘

右ヲ七拾八間四分ニ割

老小間ニ付 銀拾匁〇貳分

右之通相違無御座候、以上

申三月廿六日

右町用掛

原 徳兵衛

四谷塩町老町目

一、戸数 百五拾七戸

一、人員 五百八拾五人

右之通御座候、以上

壬申三月朔日

右町

町用懸り

原 徳兵衛

四谷塩町老町目

一、五人 男貳人

一、五人 女三人

一、老一人 女計 三番地主

一、貳人 男計 五番借店

一、貳人 男老一人 六番借店

一、男 老一人 同

一、三人 男貳人

一、男 老一人 同

一、男 老一人 同

一、女 老一人 九番借店

一、女 老一人 同

吉田喜兵衛召仕

原 栄蔵

一、男 三人 拾番借店 伊藤 音吉

一、男 一人 同 金子吉之助弟子 小森 浜吉

一、男 一人 拾式番借地 下田惣吉召仕 関根 鉄五郎

一、男 一人 拾式番借地 市川与右衛門召仕 島野 豊吉

一、男 一人 拾三番借地 新開定吉同 関根 半兵衛

一、四人 男三人 拾四番地主 森五兵衛召仕 鈴木 伝吉

女一人 拾四番地主 外三人

一、男 一人 拾六番借地 清水万蔵召仕 堀 卯吉

一、女 一人 拾七番地主 大嶋市右衛門母 ひさ

一、三人 男一人 拾九番借地 丹羽幸助召仕 新 助

女二人

一、式人 男一人 式拾番借店 林 庄三郎

女一人

一、男 拾三人 廿壹番地主 富山 彦兵衛

富山小左衛門出店主

ノ惣人数 五拾四人

内男 三拾九人

女 拾五人

竈数 拾軒

右之通御座候、以上

明治五年壬申三月十日 塩町壹町目

原 徳兵衛

四谷塩町壹町目

一、戸数 百五拾七軒

内 拾戸寄留人

一、人員 五百八拾五人

内 五拾四人寄留

右之通御座候、以上

壬申三月十日 右町用掛

差上申御受書之事

一、市谷七軒町四番借店鈴木市兵衛奉申上候、当二月五日麴町拾式

町目往還ニ而、木綿中形小風呂敷ニ包、金式分式朱拾取候間、其

段御訴奉申上候処、落人無之候ニ付、今日私被召出右金子・風呂

敷共被下置、難有頂戴仕候、依之御請書差上候処、如件

明治五年壬申三月五日 第三大区九小区

市谷七軒町

四番借店

町用掛

鈴木 市兵衛

第三大区

原 徳兵衛

御役所

第三大区九小区

四谷塩町壹丁目

拾貳番借地

中野 長吉<sup>印</sup>

壬申二月十日御検印  
一、大七車 壹輛  
但 壬申二月

第三大区九小区

四谷塩町壹丁目

拾四番地主

森 五兵衛<sup>印</sup>

辛未八月十八日御検印  
一、西洋形小車 壹輛  
但 辛未八月より  
同 十二月迄

税銀納済

第三大区九小区

四谷塩町壹丁目

拾三番借地

新開 定吉<sup>印</sup>

辛未二月五日御検印  
一、大七車 壹輛  
但 辛未二月より八月迄税銀納済  
同月中取崩御訴済

第三大区九小区

四谷塩町壹丁目

拾六番借地

清水 万蔵<sup>印</sup>

辛未二月五日御検印  
一、大七車 壹輛  
但 辛未二月より  
同 十二月迄

税銀納済

第三大区九小区

四谷塩町壹丁目

拾四番地主

森 五兵衛<sup>印</sup>

辛未二月五日御検印  
一、大七車 壹輛  
但 辛未一月五日  
同 十二月迄

税銀相済

第三大区九小区

市谷七軒町

貳番地主

岡村 善五郎<sup>印</sup>

辛未<sup>(マ)</sup>月五日御検印  
一、大七車 壹輛  
但 辛未<sup>(マ)</sup>  
同 十二月迄

税銀納済

第三大区九小区

市谷七軒町

明治四年〜明治五年三月五日

辛未二月五日御検印

式番地主

一、西洋形小車 老輛

岡村 善五郎 印

但 辛未二月より

税銀納済

自壬申三月寄留

合 男 老人

女 式人

松沢 正憲  
妻 こと

同 十二月迄

第三大区九小区

市谷七軒町

辛未二月五日御検印

四番地主

一、西洋形小車 老輛

繁沢 庄兵衛 印

但 辛未二月より

税銀納済

同 十二月迄

自辛未十一月寄留

合 男 式人

女 式人

小野 久平

第三大区九小区

四谷塩町老町目

式番地借店

静岡県土族

徳川正二位殿貸人

自辛未十二月寄留

合 男 老人

女 式人

長野 猪十郎

合 男 老人

女 式人

高浦 武助

同

同町四番借店

雲州嶋根県

同

同町廿式番借地

近衛兵

拾三等出仕

試補

小学一校句読教授

静岡県土族

同町五番借地

同

同町八番借地

東京府貫属

卒

第壹番隊附屬

一等軍医副

証文金

桑次郎父

自辛未十一月

吉雄 幸沢

明治四年辛未十一月より当申年二月迄利足 但金廿五兩ニ付、壹分之割

辞令ニ付寄留

男 壹人

一、金三兩貳朱ト銀四匁五分

相手 服部 虎次郎

合 男三人

女 壹人

合金八拾三兩貳朱ト銀四匁五分滞

女貳人

召仕男 壹人

借用申金子之事

右之通御座候也

同女 壹人

一、金八拾兩也

壬申三月

右町用掛

原 徳兵衛

用証文仍如件

明治四年未十一月

服部 虎次郎

乍恐以書付御訴訟奉申上候

第三大区六小区

伊勢屋

牛込改代町

廿九番地主

吉兵衛殿

訴訟人 奥山 吉兵衛

貸金滞出入

第三大区九小区

四谷塩町壹丁目

貳拾番借店

右訴訟人奥山吉兵衛奉申上候、相手服部虎次郎義者兼而懇意ニ仕候  
処、去未年十一月中私方江罷越御頼候者、此度商法相始メ度候間、金  
子貸呉候様達而御頼ニ付、前書金子貸遣し、尤婦商願濟之節御手当  
金頂戴仕、右金子本家服部中殿方江預ケ有之候間、右ヲ以同月晦日  
限り急度返済可致候様申ニ付、相違も有之間敷与存、証書取之貸遣  
し候処、其後一向ニ相返し呉不申、度々催促仕候得共、品能申延而已

明治五年三月

致居候間、本家服部中殿方江罷越聞合候処、御手当金預り置候得共、追々当人ニ相渡シ、最早預り金無之趣ヲ被申聞、驚入取調候得者、虎次郎義者所々江金子貸遣し活計相立居候趣承り、左候得者私ヲ偽り候義与奉存、甚難渋仕候間、無是非今般御訴訟奉申上候、何卒格別之以

御仁恵、相手服部虎次郎被召出、前書滞金不残濟方致候様、御利解被成下置候様、偏ニ奉願上候、以上

明治五年壬申三月

右

奥山 吉兵衛

町用掛

山本 平蔵

東京

御裁判所

乍恐以書付御訴訟奉申上候

第三大区九小区

市谷七軒町

宍番借地

訴訟人 福嶋 吉之助

刀拵代金滞出入

第六大区七小区

本所緑町老町目

証文金

一、金五両也

証拠もの

借用申金子之事

一、金五両也

右者前書刀拵代金借用申処実正也、返済之義者何卒<sup>(マ)</sup>当正月十四日限り急度皆納可仕候、若日限相違仕候ハ、私居宅家財不残成共御勘定仕候、為念借用証文仍如件

明治四年未十二月三日

東京府貫屬士族

借主

横山 英三郎

福嶋吉之助殿

右訴訟人福嶋吉之助奉申上候、相手横山英三郎江金子貸遣候処、濟方不仕甚難渋仕候間、無余義今般御訴訟奉申上候、何卒格別之以御慈悲、相手横山英三郎被召出、滞金皆済仕候様、御利解被成下置度奉願上候、以上

明治五年壬申四月

右 福嶋 吉之助

町用掛 清水 弥兵衛

東京

御裁判所

乍恐以書付御訴奉申上候

一、四谷塩町老町目町用掛原徳兵衛奉申上候、同町式番借店ニ罷在候静岡県士族長野猪十郎殿私方江罷越申聞候者、過日用達候画引相返し呉候様被申聞候ニ付、不審ニ存次第相尋候処、先月廿六日昼八ツ時頃、年齢四拾歳位ニ相成町人躰之男、同人方江参り、私使之由申、画引入用之義有之候間、貸呉候様申ニ付、任其意ニ用立候旨被申聞驚入、左候得者全私名前申偽同人ヲ欺、左之品衛取候義与奉存候、依之此段御訴奉申上候、以上

明治五年壬申四月二日 第三大区九小区

四谷塩町老町目

町用掛 原 徳兵衛

一、玉篇画引

町用掛 野口 孝三郎

第三大区

御役所

一、年齢 四拾才位

一、中文中肉

一、瘦七形色墨ク

一、顔細ク

一、目鼻口常躰

一、前歯老杖無之

一、衣類唐糸織藍縞綿入ヲ着シ

一、小倉帯ヲ罷在

名古屋

出生之由

与 七

申廿六才

右之もの義、名古屋旧邸御親兵屯所焚出し小遣汁方相勤罷在候処、不首尾ニ而四谷塩町老町目拾八番借店大工職田中伊三郎義者、同国之好身ニ而度々罷越候処、両三日已前漸託相叶、御屋敷江相帰り候趣ニ御座候、依之此段申上候、以上

但当人与七立廻り候ハ、早速御取締所江御届ケ可申上候、以上

四谷塩町老町目

町用掛 原 徳兵衛

壬申三月廿三日

第三大区九小区

御取締

御役人中様

名古屋

出生之由

与 七

三十才位

一、中文中肉

明治五年三月〜四月二日

一、眼並

一、鼻高ク

一、色赤ク、アハタアリ

一、髪毛薄ク小鬚

右者四谷塩町辺人力車塗師屋隣家住居不明、是迄市谷御親兵焚出し致居候もの

壬申三月

右者第三大区八小区之調之由ニ而、勝興寺江掛合被成、同所調

差上申濟口証文之事

一、第三大区九小区四谷塩町巷丁目拾貳番借地藤原藤兵衛奉申上候、相手小林十太郎義兼而懇意罷在候処、去ル明治二己巳年八月中金子貸呉候様申之候ニ付、相違も有之間敷与存、期月証文取之、金四拾両貸遣し候処、濟方被仕無余儀去未十一月廿日御訴訟奉申上候

一、相手小林十太郎奉申上候、訴訟人藤原藤兵衛より金子借用致候処、返済方延引仕候ニ付、及出訴申候、然ル処私義當時帰商願中ニ付、賜金頂戴之上右金子ヲ以元利取揃願人方江返済仕度段奉答上

右之通双方申立、御吟味中度々御日延願上、厚御利解ニ基キ掛合

中、相手小林十太郎義兼三月十七日願濟之上賜金御下ケ渡し相成候処、同人義借財方数口ニ而夫々差引相成不都合之義申立候ニ付、同人義御差留<sup>マド</sup>ニ之上貸方一同被召出厚御利解被仰付、貸方一同配当之割合ヲ以御願高金五拾両三分ト銀三匁之処、金貳拾毫貳朱ト銀貳分請取、殘金不足勘弁古証文相手方江差戻し以來双方無申分、右出入熟談内濟仕、偏ニ御威光与難有仕合ニ奉存候、然ル上者右一件ニ付再御吟味可奉願筋毛頭無御座、依之為後日濟口証文差上申処如件

明治五年壬申四月二日

第三大区九小区

四谷塩町巷丁目

拾貳番借地

訴訟人 藤原 藤兵衛

右町用掛 根橋 長次郎

元東京府實屬

相手 小林 十太郎

差添人 石原 玉羽<sup>マア</sup>

東京

御裁判所

乍恐以書付奉申上候

一、四谷塩町巷丁目拾八番借店大工職田中伊三郎奉申上候、兼而知人与七与申もの今般子細不存御召捕ニ相成奉恐入候、同人義者尾州名古屋出生之ものニ而不便歎敷次第ニ奉存候、何卒以

御慈悲御吟味相濟候ハ、同人身分私江御引渡被成下置候様奉願上候、以上

明治五年壬申四月廿二日 四谷塩町耆町目

拾八番借店

田中伊三郎煩ニ付代

町用掛 原 徳兵衛

戸籍

\*尾州愛知郡□村百姓孫八二男

御役所

久能仙七申廿七才同人義同日所刑濟御引渡相成申候\*

記

第三大区 九小区

一、金八円

扱所小使式人給分

一、金貳円五拾錢五厘

書記雇上ケ十五日分

但一日十六錢七り

一、金百円貳拾五錢

町用掛貳拾人給分

右之通御下ケ渡相願候也

壬申六月

右区

区长 戸長

乍恐以書付御訴奉申上候

一、四谷塩町耆町目町用掛原徳兵衛奉申上候、同町貳番借店罷在候

明治五年三月二十九日、六月

静岡県士族長野猪十郎殿私方江罷越申聞候者、過日用立候画引相返呉候様被申聞候ニ付、不審ニ付次第相尋候処、当月廿六日昼八ツ時頃年齢四拾歳位ニ相成候町人躰之男同人方江参り、私使之由申、画曳入用之義有之候間、貸呉候様申ニ付、任其意用立候旨被申聞驚入、左候得者全私名前ヲ申偽同人ヲ欺左之品銜取候義与奉存候、依之此段御訴奉申上候、以上

明治五年壬申三月廿九日 第三大区九小区

四谷塩町耆町目

町用掛 原 徳兵衛

乍恐以書付奉申上候

一、第三大区九小区四谷塩町耆町目拾番借店鍼医麻川遠庵妻きち奉申上候、私義者旧幕臣鈴木覚左衛門妻ニ御座候処、同人義去ル拾六ヶ年已前安政四巳年九月中死去仕、其後三ヶ年已前午年三月中静之助引連前書遠庵方江嫁候処、今般静之助義子細不奉存候得共、御召捕ニ相成今日私被召出、右始末御吟味奉受奉恐入候、何卒格別之以

御慈悲御吟味相濟候ハ、同人身分私江御引渡被成下置候様、偏ニ奉願上候、以上

明治五年壬申六月十八日 四谷塩町耆町目

拾番借店

麻川遠庵妻 きち

明治五年六月十八日、九月

町用掛 原 徳兵衛

壬申九月

四谷塩町老丁目

東京

御裁判所

東京

第三大区九小区

御裁判所

四谷塩町老丁目

拾七番邸借店

記

商 中嶋 八十助

一、金八拾八両貳分壹朱ト

\* 榊原様分御勘定相

右之もの御用候条、明後十七日朝第十字礼服用、当司江罷出候様

老匁五分五り

立候得者御皆済ニ

御達有之度候也

六百七拾六文

相成候旨被申聞候\*

壬申八月十五日

造 兵 司

右之通根来勘定不足之趣当三月書出之処勘定違分余与存候

東京府

一、金八拾三両三分貳朱ト

\* 今般御預高御濟方相成候得者、

御中

貳匁八分八り

根来様・榊原様御両家

前書之通被仰渡奉畏候也

右之通り榊原飯米代滞候段出訴吟味中之由

共皆済相成候旨被申聞候\*

壬申八月十五日

右 中嶋 八十助<sup>印</sup>

一、元金貳拾五両

\* 本文元金他借故、元利共同人手元より出銀

乍恐以書付奉申上候

一、利銀七百匁

差出し候義ニ付、此度一件相済候得者、証文

四谷塩町老丁目

御返却可仕旨被申聞候\*

七番借店

元利メ 金廿五両

善兵衛

銀七百匁

右之もの今日召連可罷出旨御差紙ヲ以被仰渡候処、同人義者当七月

右者井上觀治預り金元利其假済方不相成候躰ニ有之候

朔日奥州表江罷越候趣被申聞、店引払候間依之此段申上候也

三口メ 金貳百八両余

右之金子貴殿より被引合候附、早速承知致度御問合申候事

申九月六日

根来五左衛門元家来

井上 観治

志賀 重一

大鳴市右衛門殿

四谷塩町老町目

勘六店

鍛冶職

長五郎後家

賃仕事 ふじ

申四十才

浄土宗浅草新堀大泉寺

店請人三河町壹町目家主伊兵衛

娘 よし

同十四才

同八才

生国右同断

右之通り去ル十一ヶ年已前文久二戌年四月中人別書上候処、其後同人義居所相知不申、依之翌亥年中除帳相成、今般御町内三番地森川喜三郎与申もの旧籍之義申出候ニ付、取調差出候間、可然御取計可有之者也

右之通り去ル十一ヶ年已前文久二戌年四月中人別書上候処、其後同人義居所相知不申、依之翌亥年中除帳相成、今般御町内三番地森川喜三郎与申もの旧籍之義申出候ニ付、取調差出候間、可然御取計可有之者也

右之通り去ル十一ヶ年已前文久二戌年四月中人別書上候処、其後同人義居所相知不申、依之翌亥年中除帳相成、今般御町内三番地森川喜三郎与申もの旧籍之義申出候ニ付、取調差出候間、可然御取計可有之者也

有之者也

明治五年二月一日〜九月六日

壬申八月五日

第三大区九小区

四谷塩町老町目

町用掛 原 徳兵衛

第六大区小七区

深川松代町式丁目

町用掛衆中

乍恐以書付御訴奉申上候

一、四谷塩町老町目拾六番借店湯屋清水万蔵、同町拾貳番借店漆原友次郎右兩人奉申上候、私共之内漆原友次郎義先月廿八日夜六ツ半時頃、忰万次郎引連入湯ニ罷越、揚場棚江脱入置候万次郎所持之左之品々紛失仕候、依之此段御訴奉申上候、以上

持之左之品々紛失仕候、依之此段御訴奉申上候、以上

持之左之品々紛失仕候、依之此段御訴奉申上候、以上

持之左之品々紛失仕候、依之此段御訴奉申上候、以上

明治五年壬申二月朔日

四谷塩町老町目

拾貳番借店

漆原 友次郎

同町拾六番借地

清水 万蔵

町用掛り 原 徳兵衛

紛失之品

一、銘せん葛糸織中立綿入 壹枚

但シ肩入銘せん相格子胴裏鬱金木綿裾廻し花色木綿

明治五年二月一日～三月

一、紺小倉同単もの 壹枚

但し肩当木綿相立じま

一、鬱金木綿同襦伴 壹枚

但し袖相三浦絞り木綿

メ 三品

第三大区

御取締

御出張所

乍恐以書付奉願上候

第三大区九小区

四谷塩町壹丁目

拾貳番借地

藤原 藤兵衛

右藤兵衛奉申上候、当御管下小林十太郎殿江相掛貸金出入、東京御  
裁判所江奉出訴候処、昨二日別紙之通対談書奉差上候間、同人江給  
金有之候ハ、私江御沙汰被成下置候様奉願上候、以上

明治五年壬申二月三日

右 藤原 藤兵衛  
町用掛 原 徳兵衛

第三大区

拾小区

戸長中様

対談御日延奉願上候

御願高

元利合

一、金五拾両三分 銀三匁 滞高

内

金四拾六両

金四両三分

右之通対談取極メ相手方より願人江証書取置申候間、右金子受取候  
迄御日延御猶予奉願上候、以上

明治五年壬申二月二日

四谷塩町壹丁目

拾貳番借地

願人 藤原 藤兵衛

東京府貫屬

士族小林重太郎代

東京

御裁判所

中之郷八軒町森政八江相掛候預ケ金滞出入訴状

第三大区九小区

四谷塩町壹丁目

明治五年壬申三月

廿式番借地

訴訟人 田中 伊兵衛

表式番町

預人 森 政八

三浦清藏同居

受人 三浦 丹造

乍恐以書付御訴訟奉申上候

第三大区九小区

田中伊兵衛殿

四谷塩町老町目

廿式番借地

訴訟人 田中 伊兵衛

預ケ金出入

第六大区九小区

中ノ郷八軒町

九番借地

相手 森 政八

東京

御裁判所

証文金

一、金七拾五両

証拠もの

預り申一札之事

一、金七拾五両也

第三大区小五ノ区

牛込神楽町附屬輕子坂下

番地借平民

教部省等外三等出仕

根来 長久

明治四年未正月四日

神田豊嶋町貳町目

七番伝八借地

乍恐以書付御返答奉申上候

明治五年三月〜七月

第三大区小五ノ区牛込神楽町附属軽子坂下千八百六十一番地借根  
 来長久奉申上候、同大区小九ノ区四谷塩町老丁目大嶋市右衛門儀、  
 去ル亥年より私方飯米并扶持米等春入申付、年々前金相渡凡六拾石  
 程ツ、取極、毎年冬ニ至り差引勘定致し来候処、同辰年以来私隱居  
 仕養子道太郎儀、西京ニ罷在翌巳年秋より病氣ニ付、私儀も西京江罷  
 越、御当地ニ者私次男并家来小笹庫太・志賀久司・井上観治・石渡  
 喜兵衛与申もの共残し置候処、右次男儀同年十一月ニ病死仕、道太  
 郎儀も午年二月病死仕、跡相続可仕相応之者無御座候ニ付、私再相  
 続仕候ニ付、格外之入用相掛り、引続祿制被定、采地ニ離候より漸  
 ヲ會計差迫候ニ付、右市右衛門方勘定滞、多分之借財相成、其上親  
 戚榊原歌都楽方ニ而飯米差支候砌、右観治口入を以春入為致候代金  
 茂滞、夫是余程之金高相成頻迷惑申聞候ニ付、同年三月中右家来と  
 も取計を以、榊原より請取候分八拾両余、其他他借致し都合百五拾  
 両入金、残百四拾七両三朱ト五百三拾六文内五拾両四月相渡、式拾  
 両者五月中可相渡、六拾六両者益暮拾老両ツ、可相渡、拾老両三朱  
 余者不足勘弁可致答対談行届、則四月中五拾両相渡、五月中可渡式  
 拾両之内、拾両相渡候処、私會計差迫才覚不行届候ニ付、跡金拾両  
 を始年賦金等相滞候儀ニ御座候、尤右滞分ハ家来共相對を以、市右  
 衛門より借請候米代金ニ而私償可遺積ニ者候得共、西京ニ罷在前対談  
 及候趣茂粗承候迄ニ而、其内当表江罷出取計候積之処、去暮榊原江市  
 右衛門罷越、同人方飯米代滞居候間、及出訴候段申断候ニ付、同人  
 大ニ驚、右勘定前書之通篤ニ相濟候事故、順席を以談判候様申答候

由、榊原より観治始江談有之候ニ付、市右衛門江談之上、右五月中可  
 渡殘金拾両相渡候由、然ル処私儀神祇省等外出仕拜命仕、其上於西  
 京婦商願濟ニ付、当三月帰京仕候処、右催促有之候得共、未居宅茂  
 無之同居罷在候仕合、殊ニ永々入組候勘定ニ而元家来共夫々散々職  
 業有之、急速承札候儀不行届、其上市右衛門より書出候勘定相違仕  
 候得共、先年来之勘定書も散乱致居、調中ニ御座候処、去月中猶又  
 榊原方江彼是申越候由及承候、然ル処私同居先市ヶ谷柳町町用掛江  
 罷越、榊原より市右衛門江之払金私遣込不相渡候間、出訴仕候旨申  
 聞候由事実ニ相違無之候ハ、示談可仕旨戸主光徳院江懇諭有之候  
 ニ付、相違之事ニ者候得共、戸主心配致し、右扱候元家来前書久司事  
 當時重一同道ニ而市右衛門方江相越、種々及示談具候得共、右様相違  
 之儀申掛り候位之儀ニ付対談不相整候処、当所江転居仕候間、又候  
 町用掛江可罷出与存、苦心罷在候処、直御扱所江罷出候次第第二付  
 而者、何様不体裁仕置候哉与御察当可有之赤面仕候、乍併全前書之次  
 第二候を榊原より々払代遣込候杯与申掛り候程之次第故、御厄介相  
 成候儀ニ御座候、私西京ニ罷在可請取訳無之ハ、顕然之儀、然ルニ榊原  
 より如何之証書差出候由、甚以難心得同人江申談候処、右者市右衛  
 門より品々六ヶ敷談之上、右証書差出候様申聞候間、差出候由、乍  
 去家来江渡候趣ニ認候積之処、私江渡候与申ハ筆者之書損ニ可有之  
 由、然者右金子前書之通勘定済私方引残り御座候、榊原分不渡候ハ  
 、私方引残り無之筈ニ御座候、然ルニ私江者勘定違余分も書出し差  
 遣、其上榊原分遣込候杯与申掛候ハ市右衛門窮迫之余、一重余分ニ

可申受巧与相聞候、畢竟元家来共引負と者乍申、詰り私相手ニ相成  
公裁ヲ奉請候儀ニ至候而者、乍卑賤奉職之身分ニ而別而奉恐入候間、  
右之段厚

御憐察被成下、何故右様不都合所業仕候哉、御糺之上別段子細茂無  
御座候ハ、実意正路を以相對仕候様、乍恐

御利解被 仰付被下置度、偏ニ奉歎願候、以上

明治五年壬申七月

第三大区小五ノ区

牛込神楽町附屬軽子坂下

番地借平民

教部省等外三等出仕

根来 長久

第三大区小五ノ区

御扱所

(貼り付け書簡)  
〔東京〕

神奈川県管轄

第三大区九小区

第八区

戸長

戸長

柳田周蔵

深野長兵衛様

副

熊沢茂兵衛

御報

神奈川県管轄

元第八区

武州多摩郡

下石原宿

第五拾番地

百姓

熊井喜之助父

勤 七

同人娘 ち か

其区四ツ谷塩町老丁目大嶋市右衛門より右もの共へ相掛り品取戻  
し出入申立候趣ヲ以、一応御掛合ニ御座候ニ付、相手当人取調候  
処、右ちか離別之砌、双方一札為取替無申分事濟候旨申之、其余廉  
々之義ハ証無之申事ニ而難取調、依之此段御報如此ニ御座候、以上

三月七日

上

東京

第三大区九小区

四谷塩町老丁目

十七番地主

大嶋市右衛門

四谷塩町老丁目

十七番地主

明治五年二月〜七月

大嶋市右衛門

武州多摩郡

品取戻し出入

下石原宿百姓

相手 熊井 勘七

右同人娘 ちか

同国同州同郡

上菅村百姓

同 原嶋 源次郎

小兒預ケ候節為持遣し候衣類

一、木綿地半

沓ッ

一、同布子引とき表裏 但シ抜綿とも

沓枚分

一、腹掛緋五分、模様者波ニこい

沓ッ

一、嶋縮緬単物、紺地横立嶋

沓枚

一、博多織、嶋縮緬綿入小袖

式枚

一、中形同着地色萌黄

沓枚

一、紺地横立嶋、綿入小袖縮緬

沓枚

一、絹中形単物地色ふと鼠(マウス)

沓枚

一、緋五分頭巾、金ニ而模様付有之

沓ッ

一、緋縮緬丸くけ但し紅ニ而染返し

沓筋

一、浅黄地唐草色着木綿

沓ッ

一、綿木めんだ嶋小夜着

沓ッ

一、もへき横立嶋紺地引ふとん

沓枚

一、もへき五筋風呂敷

沓ッ

一、かぶせふたこうり 丈式尺余横沓尺余

沓ッ

メ拾五廉

一、衣類三枚引替之品

一、八寸鏡 但シさやニ入

沓枚

一、女鼻紙入 但シにしき

三ッ

一、しんちゆうみ、たらい

沓ッ

一、同わたし金 但シ模様唐草

沓本

一、同金わかし

沓ッ

一、しんけん塗用事入箱

沓ッ

一、はり箱其外品々小道具入

沓ッ

一、緋紗綾ふとん引とき表裏とも

沓枚分

一、浅黄縮緬中形夜着表

沓枚

一、緋羽二重右之夜着裏

沓枚

一、浮織単物

沓枚

一、紫縮面かのこ帯沓筋(マウス)

沓筋

一、立嶋めいせん女裕 但シ裏草色

沓枚

一、絹中形浅黄女地半

沓枚

一、桃色木綿中形 但シ袖絹中形

沓枚

一、日傘

式本

一、花色絹小切木綿小切色々六包

一、葛籠式ツ 沓ツ者もつこう赤紋付印龍由(ママ)与有之

沓ツハ当人里方紋付、知印之候得共、私持参之品ニ

御座候

メ拾八廉

一、鉄火はし

沓れん

一、しんちゆう水呑、同さしとも

式ツ

一、茶呑茶碗

五ツ

一、同 同

五ツ

一、ふた物

沓組

一、鉄ひん

沓ツ

一、角皿

沓枚

一、湯呑

沓ツ

一、徳利

沓ツ

一、髪すり藤

沓ツ

一、三ツ引出し筆筒

沓ツ

メ拾老廉

一、同人裕 相三筋表裏とも引とき

沓枚分

一、(ママ) 此分跡取調候処相見不申品

一、同人裕裏引とき

沓枚

一、手帳半紙四ツ折 表大嶋屋与印

沓冊

裏大福帳与印

一、倅大助裕表裏引とき

沓枚分

一、養父実印 同仕切印

式ツ

一、畔織ふとん中形但シ表裏とも地色浅黄

沓枚分

但シ抜綿

一、袴表紺茶三筋嶋引とき

沓足分

一、華色無地中立引とき

沓枚

一、めんた嶋半天但シ裏花色但シ抜綿とも

沓枚分

一、相三縞こうし男物引とき

沓枚

一、相めいせん男羽織引とき裏鼠かつき

沓枚分

一、紺茶嶋男物引とき但シ抜綿とも

沓枚分

一、紺糸入二筋嶋男物引とき但シ抜綿とも

沓枚分

一、花色木綿男物引とき

三枚分

一、赤地立嶋糸入男物引とき但シ抜綿とも

沓枚

一、木綿花色男物表かくとら引とき

三枚分

一、相紺地浅黄三筋嶋裕男物但シ裏花色

沓枚

一、倅辰太郎 半天表唐さん裏花色

沓枚分

但シ抜綿とも

一、同人布子 表宅ニ有之同ゑり無之

沓枚

裏花無之

一、同人綿入表裏引とき但シ抜綿とも 壹枚分

一、同人頭巾加奈絹中形 壹ツ

一、古渡りもへき五ツ山岡頭巾 壹ツ

一、同人油屋唱候前掛 貳ツ

一、召仕之もの古ふとん三枚分但シ裏表とも引とき

但シ抜綿とも

一、加奈絹もへき風呂敷印<sup>㊦</sup> 壹ツ

一、同さらさ風呂敷 三ツ

一、紺縮緬腰但シ波ニ都鳥模様 壹ツ

一、紫帯<sup>メ</sup>中に守入銀小サキ<sup>ウツ</sup>えんろう付 壹ツ

一、女腰帯 壹筋

一、山付脚半紺裏花色 貳足

一、白木正目金三ツ森もつこう岩ニ牡丹高蒔絵 壹ツ

一、印籠 但シひも紫<sup>メ</sup>百玉ね付しゆたん

一、惣高蒔絵山水印籠 但し 華小サキきんちやく付 壹ツ

ひも<sup>メ</sup>さんこうし丸と紋と<sup>㊦</sup> ね付ふと<sup>㊦</sup>こうろ

一、木綿糸<sup>モ</sup>反分 織屋江預置候処離縁後横取致候 壹ツ

一、飛色羅紗男紙入但シ金物四分一 壹ツ

一、赤銅屋建但シ印墨入付 壹本

一、木綿嶋紙入但シ裏<sup>マ</sup>笑<sup>ゑ</sup> 壹ツ

一、同 同 同懷中大工道具 壹ツ

品々小道具<sup>メ</sup>

一、真綿貳百目程

一、紺五分悴羽織裏かつき紋 ㊦ 壹ツ

一、絹小倉帯<sup>メ</sup> 壹筋

一、二ノ膳<sup>メ</sup>貳ぜん

一、四升入飯鉢 壹ツ

一、銀くさり ひ<sup>マ</sup>ゆたん付有之 壹ツ

一、銀箸<sup>爪</sup>ニ藤卷 紋付有之 壹ツ

一、懷中硯箱品々小道具付 壹ツ

一、同角鏡 壹枚

一、鼈甲櫛 壹枚

一、同角笄 壹本

一、同み、付笄 壹本

一、中さしさんこうし付 壹本

一、銀かんさしさんこうし玉付 壹本

一、さんこうしね掛 壹ツ

一、銀かんさし ㊦ 壹ツ

メ五拾四廉

惣<sup>メ</sup>九拾八廉

右訴訟人大嶋市右衛門奉申上候、去ル拾<sup>ケ</sup>年以前文久二戌年十二月中、武州多摩郡下菅村原嶋源次郎与申者媒人ニ而、前書同国同郡下石原宿熊井勘七娘ちか<sup>メ</sup>申者妻ニ賞請候処、五<sup>ケ</sup>年已前より追々

我侬相募候得共、小厄両三人も有之候間、勤弁致居候処、去五月中  
 存意不相叶義有之候ニ付、不得止事媒人右源次郎方へ罷越、妻ウツマかち  
 義離縁致度間、引取呉候様及掛合候処、同人より実父勤七方へ懸合  
 之上、最早拾ヶ年計も罷在候義ニ付、手当金五拾兩相添呉候得者、  
 引取可申旨申聞候間、私義も追々不仕合相続難洪之折柄ニ付、媒人  
 源次郎并勤七江掛合之上、右ちかへ、為手当与金式拾兩相添、去未五月  
 十四日離縁状相渡、媒人源次郎江引渡跡追々取調見候処、右源次郎  
 江懸合中ちか義前書之品々并養父印形其外諸出入日記帳面迄持運  
 ひ候間、其砌より彼地へ数度掛合候処、不取留義而已品能申延、取  
 繕掛合候得者、五七日之内ニ罷出可申旨而已打過、更ニ埒明不申、  
 依之当人ちか赤坂表伝馬町式丁目地守五嶋三四郎店之住所ニ付、私  
 并元組合吉田喜兵衛与兩人ニ而右三四郎方へ罷越、三四郎立合ニ而数  
 度及掛合候処、昨十一月十四日(マ)至り、ちか立合之場所ニ而申聞候ニ  
 者、嫁付参候節衣類諸道具代として拾五兩\*持参金致候杯与\*、跡  
 方も無之義申掛ケ候間、右三四郎立合之場ニ而取詰候処、一言も無  
 之致其場立退申候跡ニ而、三四郎私へ申聞候ニ者、右様々之謀計取巧  
 候者ニ而者逆も埒明不申旨申聞候間、其日者引取、翌十五日右ちか預  
 ケ書受取ニ罷出候処、在所表ニ病人有之由ニ而親勤七同道ニ而立歸り  
 参り候間、帰宅仕候迄預り書難差出候ニ付、暫時打過罷在候\*内  
 \*、人別之義者\*下石原宿江\*差送り候趣\*被申聞候間\*、当正月  
 廿一日\*下石原宿役場江\*罷越候処、一応当人談候上、右性(マ)名書差  
 出候間、明後廿三日参り候様申聞候間、則廿三日罷出候処、相手被

取候而者迷惑ニ候間、難性(マ)名書相断候間、左候得者御調之上、又々罷  
 出候旨申入候処、御差図候而も差出不申旨申聞候間、左候得者逆  
 も示談致候敷与掛合候処、其義も無之右様ニ而者小兒其外之もの者  
 衣類差支罷在候間、無是非今般御出訴奉申上候、何卒格別以  
 御仁恵、相手之者共被召出、私所持之品々相返候様御利解被成下置  
 度奉願上候、以上

明治五年二月

四谷塩町壹丁目

十七番地主

大嶋 市右衛門

東京御府

御役所

第三大区九小区四谷塩町壹丁目拾九番借店次郎吉事比留間  
 市五郎へ相掛り候貸金滞出入訴状

第五大区小十一ノ区

浅草三社町式丁目

四番借店

久保木匂当事

明治五年壬申七月

訴訟人 玉垣 鶴翁

乍恐以書付御訴訟奉申上候

明治五年二月〜七月

明治五年七月、九月二十四日

第五大区小十一ノ区

浅草三社町式丁目

四番借店

久保木当主

訴訟人 玉垣 鶴翁

貸金滞出入

第三大区九小区

慶応二寅年六月証文

四谷塩町壹丁目

一、金五兩貳分也

拾九番借店

同月より当申七月迄利足

次郎吉事

一、金三兩三分式朱卜銀拾四匁五分五厘

相手 比留間市五郎

合金九兩貳分卜銀七匁五厘

証換写

借用申金子証文之事

一、金五兩貳分也

但通用金ニ而

右者私商売向要用ニ付、御官金之内請人ヲ以借用申処実正也、利足之義者、老々月金廿五兩ニ付老分之割合ヲ以、来ル八月廿日限り元利共急度御返済可仕候、万一相滞候節ハ、受人之内老人ニ而も引受定日限之通聊無相違皆済可仕候、為後日証文仍而如件

慶応二寅年六月

四谷塩町壹丁目

弥兵衛店

借用主

次郎吉

靴町老丁目

五人組持店

受人

卯之助

同町拾式丁目

藤左衛門店

同

庄三郎

久保木当主様

右訴訟人奉申上候、私義久保木当主与申砌、相手次郎吉江金子貸渡候処、期月過去而も返済不仕候ニ付、度々及懸合候得共、更ニ埒明不申甚難渋仕候間、無余儀今般御訴訟奉申上候、何卒格別之以御仁恵、相手次郎吉被召出、前書滞金皆済仕候様、御利解被成下置度奉願上候、以上

明治五年壬申七月

右

玉垣 鶴翁

町用掛

(マ)

東京

御裁判所

御酒頂戴御請書

第三大区九小区

四谷塩町壹丁目

今般鉄道御開ニ付、府下平民江御祝儀与して御酒下賜候、当区竈数千八百九拾四戸

一、高四石壹斗六升六合八勺

此樽数拾貳樽ト式斗六合八勺

壹樽三斗三升入

但壹戸ニ付、御酒貳合式勺ツ、

第三大区九小区

四谷塩町壹丁目

戸数百七拾壹戸

一、御酒三斗七升六合式勺

前書之通御割渡被下、難有頂戴仕候、依之御請印形仕置候、以上

明治五年壬申九月廿四日

頂戴高

四谷塩町壹丁目

壹番地

- 印 丸山 清五郎
- 印 木村 新兵衛
- 印 桜井弥右衛門
- 印 佐藤市郎右衛門
- 印 佐藤喜右衛門
- 印 伊藤 源次郎
- 印 狩野 清吉

印 近藤 一八

印 小林 新吉

印 福沢 吉五郎

貳番地

印 上原 惣七

印 中村 利兵衛

印 神取 忠次郎

三番地

印 富田 清兵衛

四番地

印 深野 長兵衛

印 佐藤 宇兵衛

印 川本 久次郎

印 松沢 栄助

印 小泉 吉五郎

印 中村 安五郎

印 吉田 民藏

印 羽多儀左衛門

五番地

印 若原 治助

印 林 豊吉

印 矢野 久助

明治五年九月二十四日

印 清水 新兵衛

印 鈴木 吉五郎

印 石坂 勇助

印 吉野 辰蔵

印 小林 喜兵衛

印 後藤 彦七

印 小野 忠兵衛

印 堂本 与兵衛

印 渡辺 銀蔵

印 須長 庄三郎

六番屋鋪

印 渡辺 喜三郎

七番地

印 堰沢 庄吉

印 長谷川 忠吉

印 樋口 虎吉

印 藤本 兼吉

印 渡辺 寅吉

印 浅井 鉄五郎

印 田中 藤蔵

印 矢部 松五郎

印 中村 長次郎

印 松本 源次郎

印 矢野 金次郎

印 鈴木 乙吉

印 土屋 瀧次郎

印 加藤 惣八

印 芝本 金弥

印 戸谷 富蔵

印 石川 政吉

八番地

\*印 竹内 弥兵衛

印 渡辺 忠兵衛

印 川上 常吉

印 佐久間 吉蔵

印 中山 清吉

印 原 栄蔵

印 小林 銀次郎

印 中山 虎吉

印 大久保角次郎

印 細田 藤三郎

印 大熊 八十八

印 川上 松五郎

印 鈴木 米八

明治五年九月二十四日

九番地

印 中嶋 松五郎

印 吉祥 珍平

印 吉田 喜兵衛

印 加藤 喜兵衛

印 野崎 重兵衛

拾番地

印 金子 吉之助

印 中村 卯之助

印 野中 徳藏

印 吉田 善吉\*\*

印 村田 勝五郎\*\*

印 下田 秀次郎\*\*

印 加藤 常吉\*\*

印 松浦 金次郎\*\*

印 伊藤 乙吉\*\*

印 栗山 正作\*\*

印 八子 辰五郎\*\*

印 安池 弁次郎\*\*

印 麻川 遠庵\*\*

拾壹番地

印 大村 円石

印 鈴木 鉄五郎

印 白鳥惣左衛門

印 辻元 金藏

印 藤原 藤兵衛

印 下田 惣吉

印 野島 林蔵

印 中野 長吉

印 漆原 友次郎

印 市川甚右衛門

拾貳番地

印 宮沢 嘉七

印 高橋 庄次郎

印 安藤 藤兵衛

印 荒川 仙五郎

印 小川 与惣次

印 新開 定吉

拾參番地

印 森 五兵衛

拾肆番地

印 小林五郎兵衛

印 小川 市兵衛

印 小俣 伊三郎

印 高藤 吉五郎  
印 赤塚 虎吉

拾五番地

印 清水 万蔵  
印 山田 藤七  
印 森 くめ  
印 白井 栄助  
印 小林 伊之助

拾七番地

印 鈴木 与吉  
印 大嶋市右衛門  
印 荒川 ミね  
印 野田 彖次郎  
印 小林 かね  
印 若林 弥三郎  
印 小峯 熊吉  
印 内藤 宇十郎  
印 小峯 とめ  
印 宮岡 丑五郎

拾七番地

印 伊藤 清次郎  
印 原 徳兵衛

印 田中 伊三郎  
印 小林 重吉  
印 鹿目 恒八

印 中川 伊之助

印 木村 亀吉

印 花前 又蔵

印 中嶋 八十助

印 松下 仙蔵

印 田中 仙吉

印 六角 銘之助

印 生方利根次郎

拾八番地

印 丹羽 孝助

印 松村 藤兵衛

印 徳倉 兼吉

印 小川 きよ

印 白川 政吉

印 柿沼 まつ

印 佐藤 為吉

印 小林 喜太郎

拾九番地

印 田中 伊三郎

明治五年九月十四日〜二十四日

式拾番地

- 印 河井 清吉
- 印 伊藤 弥吉
- 印 守屋 誠助
- 印 三輪 きの
- 印 牧田 嘉七
- 印 林 庄三郎
- 印 篠原 伊之助
- 印 比留間市五郎
- 印 村上 佐市
- 印 服部 桑次郎
- 印 井上 利助
- 印 佐竹 猪之助
- 印 野沢 善次郎
- 印 松居 茂三郎
- 印 加藤 長五郎
- 印 谷 林左衛門
- 印 富山 房三郎
- 印 山口安右衛門
- 印 堀 安兵衛
- 印 戸塚 和三郎
- 印 永田 三五郎

ノ竈数百七拾壹戸

- 廿壹番屋敷 印 相川 のふ
- 印 永田 久五郎
- 印 千葉 文六
- 印 遠州屋彦兵衛
- 廿貳番邸 印 高橋 七五郎
- 廿六番邸 印 杉山 喜三郎
- 廿八番邸 印 佐々木作之進
- 三拾壹番邸 印 国友 長吉
- 拾六番邸 印 清水 庄蔵
- 四谷塩町老町目式拾八番 邸内住居 木更津県御管轄 平民農 佐々木作之進

同県御管轄

平民農

杉持 八郎

但合併老戸

右之通有之候、以上

壬申九月十四日

永田 直正

四谷塩町老丁目三拾番邸内住居

市谷田丁四丁目

家主義助店

平民

(貼紙)  
〔生〕国越中新川郡

寺田極楽寺村

百姓次郎三郎次男

〔国友長吉〕

国友 長吉

壬申三十九

妻 か ね

同二十八

長男 初次郎

同十一

次男 秀次郎

同 一

長女 は な

同 六

次女 み つ

右之通御座候、以上

壬申九月

士族 酒井 友諒

申 四

四谷塩町老丁目町内持

一、長 老間貳尺  
幅 三間半

石橋老ヶ所

同所同町裏通り往還武家方町内組合持

一、長 老間貳尺五寸  
幅 三間五寸

石橋老ヶ所

同所坂町元名古屋邸持

一、長 老間老尺  
幅 貳間老尺五寸

石橋老ヶ所

麴町拾老丁目町内持

一、長 老間  
幅 五間

石橋老ヶ所

四谷伝馬町老丁目 組合持  
麴町拾老丁目

一、長 老間  
幅 三間

丸太橋老ヶ所

四谷伝馬町老丁目 組合持  
麴町拾老丁目

一、長 三尺  
幅 四間老尺

石橋老ヶ所

壬申七月

市谷七軒町

職分表

工 拾貳人

商 拾老人

雜業 男 拾老人  
女 貳人

總計 三拾六人

内

男 三拾四人

女 貳人

右之通相違無御座候也

戸数貳拾五軒 内 家持拾老軒  
借家拾四軒

士族 壹人 同家族貳人 内女貳人

平民 貳拾五人 同家族七拾九人 内 男貳拾九人  
女五十人

人員總計 百七人

内 男 五拾五人

十四以下 拾六人 十五以上 六人 廿一以上 拾五人

四十以上 拾四人 六拾以上 四人

女 五拾貳人

十四以下 拾五人 十五以上 拾九人 四拾以上 拾八人

市谷片町貳番屋敷居住

雜岡村善五郎備

文久二壬戌年二月より

市谷田町老丁目商倉吉二男

何ノ何年何月より傭入

菊地 与吉

年二十二

明治二巳年三月より

市谷田町老丁目商亀藏長男

何ノ何年何月より傭入

鈴木 音四郎

年十六

白金六丁目商半兵衛二男

明治二巳年三月より

林 瀧四郎

何ノ何年何月より傭入

年十六

東京府第三大区九小区戸籍總計

豊嶋郡

四谷伝馬町老町目 四谷笹筒町

同所同町新老町目 同所坂町

同所同町貳町目 同所南伊賀町

同所塩町老町目 同所北伊賀町

同所尾張町 同所新堀江町

魏町拾老町目 市谷七軒町

同町拾貳町目 同所本村町

同町拾三町目 同所片町

合拾六ヶ町

明治五年七月

戸数 貳千百四拾四軒

内 家持 千百三拾六軒

借家 千〇〇八軒

社 壹

寺 五

華族壹人 同家族三人 内男

女三人

士族三百七人 同家族千三拾六人 内男三百五拾六人

女六百八拾人

僧四人 同家族壹人 内男壹人 内弟子壹人

女

旧神官壹人 同家族三人 内男

女三人

平民千八百八拾人 同家族五千百九拾九人

内男千七百五拾九人

女三千四百四拾人

人員總計 八千四百三拾五人

内男 四千貳百五人

拾四以下 千七拾貳人 拾五以上 四百七拾四人

廿一以上 千三百廿三人 四拾以上 千五拾貳人

六拾以上 貳百七拾三人 八拾以上 拾壹人

女 四千貳百三拾人

拾四以下 千四拾貳人 拾五以上 千八百五拾四人

四拾以上 千三百廿七人 八拾以上 七人

内廢疾 女壹人

右之通相違無之候

明治五年壬申七月

第三大区九小区

戸長 鷺尾 正義

同 秋元 嘉晴

東京府第三大区九小区職分ヶ總計

東京府第三大区九小区職分ヶ總計

豊嶋郡 四谷伝馬町壹町目 四谷筆筒町

同所同町新壹町目 同所坂町

同所同町貳町目 同所南伊賀町

同所塩町壹町目 同所北伊賀町

同所尾張町 同所新堀江町

麴町拾壹町目 市谷七軒町

同町拾貳町目 同所本村町

同町拾三町目 同所片町

合拾六ヶ町

官員 男廿五人  
神官 男一人  
女 女一人  
邏卒 式拾四人

從者 男三人  
女 式二人  
醫師 男拾一人  
筆学 男四人  
女 女一人

農 男一人  
女 女一人  
工 男四百拾八人  
商 男八百四拾四人  
女 女式百五人

雜業 男千〇五拾四人  
女 女三百四拾九人

雇人 男百拾人  
女 女五人

人員總計三千五拾八人

男 式千四百九拾六人

女 五百六拾式人

右之通相違無之候

明治五年壬申七月

第三大区九小区

戸長 鷲尾 正義

同 秋元 嘉晴

第三大区九小区

四谷塩町壹丁目

拾式番借地

従前講談寄渡世 宮沢 嘉七

右者今般御布告之通御規則其外共相守可申候間、御鑑札被下置度奉願候也

壬申十一月九日

右

願人 宮沢 嘉七  
町用掛 原 徳兵衛

東京府知事大久保一翁殿

拾四ばん

四谷塩町壹丁目

舶来渡世

鉄五郎一件

寅 吉

右之もの明十日五ッ時召連罷出、断獄掛江可相届候也

壬申十一月九日

東京裁判所

右町年寄

(ママ)

同十二日右虎吉御呼出し

乍恐以書付奉申上候

四谷塩町壹丁目拾五番借地湯屋清水万蔵、市谷七軒町壹番借地水野平右衛門右兩人奉申上候、私共之内平右衛門義、一昨十一日暮六ッ時頃、前書湯屋万蔵方江入湯ニ罷越、揚場棚江脱入置候同人所持之左之品紛失仕候、依之此段御訴奉申上候、以上

壬申十一月十三日

第三大区九小区

四谷塩町壹丁目

明治五年七月十一月十三日

拾五番借地

訴人 清水 万藏

市谷七軒町

借地

紛失之品

被盜人 水野平右衛門

一、木綿藍三筋嶋

男衿袴ツ

但裏花色木綿

〔貼紙〕  
地織木綿あい三筋嶋袴ツ裏花色木綿

上之方ニ八九寸之友切入、袖口黒木綿

第三大区

警視

御出張所

乍恐以書付願上候

一、麴町拾老町目拾老番借店逸見銘次郎母きせ奉申上候、悴銘次郎  
義者末夕幼年ニ而稼も出来不申、私老人之手業ニ而式人之子共當  
ミ兼候ニ付、娘しけ事と佐繁与常盤津芸名ヲ受ケ、岸沢ふし指南  
為致、私義者實仕事等相稼、漸々其日ヲ相當ミ罷在候処、去八月  
五日夜四谷塩町老町目拾八番地田中伊三郎悴喜太郎与申者、右  
和佐繁ヲ連出し押隠し置候ニ付、所々相尋候内、同町拾七番借地  
伊藤清次郎義私方江罷越、右和佐繁義者、前書喜太郎仕事ニ而同

人宅ニ預ケ置候間、其段相断候旨被申聞候ニ付、娘和佐繁義者稼

人ニ有之、殊ニ一言之無断被連出候而者、私義今日活計筋ニも差障

甚夕迷惑仕候間、早々相返し呉候様及懸合候処、同人被申聞候

者、何れニ茂宣敷取扱候間、相任せ呉候様達而被申候ニ付、無拠同

人江為任置候処、同月中右清次郎義私方江罷越被申聞候者、伊

三郎方江是迄種々及談候得共、勝手而已申居、何分行届不申候

間、無是非今日限り取扱之義相断、此上相対ニ而御掛合被下様被

申聞候、依而当人方江及懸合候得共、同様勝手我侭而已申居、更

ニ埒明不申、左候辻打捨置候而者今日暮方ニ茂差支必至与難渋仕

候間、無是非奉願候、何卒相手伊三郎并悴喜太郎被召出、しけ身

分早々相返し呉候様、御利解被成下度奉願上候、以上

癸酉一月十七日

右

願人 き せ(爪印)

九小区

戸長衆中様

対談書之事

一、私共之内きせ娘しけ与申女子、田中伊三郎悴喜太郎江差遣、尤し

け義者稼人之義故、喜太郎よりきせ江見継方之義ニ付差纏出来

候処、今般双方江厚キ御利解之趣承伏仕、依之左之通

一、金拾円也 願人逸見きせ義壬申七月中佐野八十より借用金高

右者今般示談之上、田中伊三郎方ニ而引受ケ返済可仕筈

癸酉一月より来戌年三月迄拾三ヶ月分

一、金貳拾貳円五拾銭

きせ倅逸見銘次郎為養育料与当一

四谷塩町壹丁目

拾八番借店

相手 田中 伊三郎

拾七番借店

引合人 伊藤 清次郎

町用掛 飯沼 市兵衛

同 原 徳兵衛

一、金拾貳円七拾四銭四り四毛

相手田中伊三郎より願人きせ江用

立金

内金三円七拾五銭

当一月より来戌年三月迄、月々廿

五銭ツ、願人きせより相手伊三郎

戸長衆中

第三大区九小区

新吉原京町貳丁目

廿五番借地元遊女屋

松海老屋山口はる

抱遊女はる事

四谷塩町壹丁目七番借店佐久間吉蔵江引渡ス

ま る 申拾四才

差引

金八円九拾九銭四り四毛

相手田中伊三郎方ニ而不足勘弁可

仕筈

右之通対談取極メ候上者、しけ義仲人相立改而喜太郎方江縁付可申候、きせ借財前書之通不残相手伊三郎方ニ而引受返済致候上者、向後何様之借用金出来候共、相手方江迷惑相掛申間敷段、親類証人相立、願人より相手方江一札差人可申答対談取極メ候間、きせ親類引受証人取極中、来ル廿九日迄双方ヨリ御日延奉願上候処、仍如件

明治六年一月廿一日

麴町拾壹町目

拾壹番借店

逸見銘次郎母

願人

き せ

右誰義者今般解放被仰出候ニ付、当十月九日引渡之砌、以後係り合無之旨、主人方ニ而被申聞候ものニ御座候

同町拾四番借地元遊女屋

田中屋鈴木とり後見

村井弥助抱なみ事

明治五年〜明治六年一月二十一日

四谷塩町老町目六番借地兄□金五郎方江引渡ス

浪の井 申廿三才

右浪之井義者前同断ニ付、当十月十一日引渡之砌、以後係り逢無之旨、主人弥助被申聞候

同所揚屋町

元遊女屋山田屋

志方平次郎抱

遊女まき事

四谷塩町老丁目拾七番地池田亀次郎方江引渡ス

政山 申十七才

右政山義者今般解放被仰出候ニ付、当十月九日引渡之砌、給金残金四拾老両有之候ニ付、其砌新規証文ニ相改候処、同月廿二日平次郎名代之もの罷越、右証文持参墨引致シ立歸り候旨被申聞候

\*元四谷塩町七番地借店\*

第三大区拾老小区

蛟河橋式町目

二十四番地借店

□銀次郎実娘

第五大区拾二小区新吉原角町五番地主元遊女屋

越前屋登松六太郎元抱

ふく 壬申年十

右ふく儀者今般解放し被仰出候ニ付、当十月八日引渡之節、同人元給金三両ニ而聊之儀ニ付、都合宣敷節八三四度ニも返済致候様、主人六太郎より申聞候者ニ御座候

第三大区九小区

四谷坂町式番借地

□又吉姪

第五大区拾二小区新吉原揚屋町五番借地

松本屋鈴木源蔵元抱瀬川事よし

右よし儀ハ今般解放し被仰出候ニ付、当十月九日引渡之砌以後掛り合無之旨、主人源蔵より申聞候ものニ御座候

第三大区九小区

四谷坂町三拾九番地借店

□銀次郎実娘

第五大区拾二小区新吉原京町式丁目

元遊女屋遠州屋柴田利兵衛元抱

右もと儀者今般解放し被仰出候ニ付、当十月十日引渡し之砌以後懸り合無之旨、主人利兵衛より申聞候ものニ御座候

第三大区九小区

四谷南伊賀町

五番借店

□松吉妹

壬申年十三

第五大区十二小区新吉原揚屋町九番地辻村金藏元抱

つる

壬申年十九

右兄松吉義御解放し前後第四大区神田明神下元溝口邸内ニ転居仕候ニ付、つる始末柄相訳り兼候者ニ御座候

同町

五番借店

松吉妹

つる

壬申年十九

四谷南伊賀町

五拾三番借店

伊東梅吉方同居

第五大区拾二小区新吉原京町壱町目

りう

元遊女屋海老屋砂村吉助後見高井金次郎方元抱

壬申年十二

右りう儀者今般解放し被仰出候ニ付、当十月十日引渡之砌、別段掛合筋無之ものニ御座候

記

一、高金三百両

警保寮附番人 三拾壱人

此銀拾八貫匁

但壱人ニ付金五兩ツ、

右ヲ竈数三千式百軒ニ割

内九小区 式千百四拾軒

壱軒ニ付 銀五匁ツ、

拾小区 千六拾軒

貫属竈数六百軒ニ見積

此銀三貫匁

差引メ 銀拾五貫匁

右ヲ聞小間千式百軒ニ割

壱小間ニ付

銀拾式匁五分ツ、

第五大区十二小区新吉原京町壱町目元遊女屋

りう

海老屋砂村吉助後見高井金次郎元抱

壬申年十二

右りう義者今般解放し被仰出候ニ付、当十月十日引渡之砌、別段掛合筋無之ものニ御座候

六拾三間七分

一、銀七百九拾六匁式分五り

四谷塩町壱町目

明治五年

明治五年

右ヲ式ツ割

銀 三百九拾八匁壹分式り五毛

小間割

銀 三百九拾八匁壹分式り五毛

間口割

(裏表紙・白紙)

(表紙)

庚明治三年

家税取集帳

午九月分ヨリ

家作惣建坪

(張紙)

「メ千七百五拾八坪〇七勺

此税銀貳百四拾六匁三分〇四毛

\*五円より切上ケ四分八リ七毛与書上ル\*

(張紙下)

「メ千七百五拾坪〇〇七勺

此税銀貳百四拾五匁五分四リ七毛」

内訳

\*壹分八リ七毛\*

一、柿二階家二百六拾五坪

此税銀六拾八匁貳分五リ五毛

\*六リ三毛与書上ル\*

\*壹分三リ壹毛\*

明治三年

一、同平家九百九拾五坪八合貳勺

此税銀百三拾匁〇四分五リ貳毛

\*六分貳リ四毛与書上ル\*

\*壹分五リ九毛\*

一、瓦二階家百三拾九坪

此税銀廿貳匁壹分〇壹毛

\*三毛与書上ル\*

\*壹壹壹\*

一、同平家百八拾貳坪七合五勺

此税銀貳拾匁〇貳分八リ五毛

\*八リ六毛ト書上ル\*

\*七リ八毛\*

一、柿平家物置拾九坪

此税銀壹匁四分八リ貳毛

\*六リ六毛\*

一、同平家納屋五拾六坪五合

此税銀三匁七分貳リ九毛

(挟み込み書付)

「

柿二階

銀六拾八匁貳分六釐三毛

同平家

同百三拾匁六分貳釐四毛

瓦二階

銀貳貳匁壹分三毛

同平家

同貳拾匁〇貳分八釐六毛

柿葺物置十九坪

銀壹匁四分八釐貳毛

同納屋

同三匁七分貳釐九毛

六口

銀貳百四拾六匁四分八釐七毛

四谷塩町壹丁目

壹番借地

近江屋

清吉

一、柿二階家六坪貳合五勺

此税銀壹匁壹分七釐

一、同平家七坪五合

同 九分八釐三毛

\* 拾貳坪此税銀壹匁五分七釐八毛\*

一、同平家四坪五合

同 六分

引合 銀貳匁七分五釐

\* 四り貳毛上ル\*

奥田屋

喜右衛門後家

とく

伊勢屋

巳太郎

一、柿二階家六坪貳合五勺

此税銀壹匁壹分七釐

一、同平家七坪五合  
同 九分八り三毛

引合  
銀貳匁貳分

\*壹分五り三毛上ル\*

壹分五り九毛

一、瓦二階家六坪貳合五勺

此税銀壹匁

\*九分九り四毛上ル\*

一、柿平家七坪五合  
同 九分八り三毛

引合  
銀貳匁也

\*壹匁九分七り七毛上ル\*

藤屋

市郎右衛門

一、瓦平家七坪五合  
此税銀八分三り三毛

一、柿平家拾四坪五合  
同 壹匁九分

\*貳分八坪五合

此税銀三匁七分三り四毛\*

一、同平家拾四坪

同 壹匁八分三り四毛

引合  
銀四匁六分

\*五分六り七毛上ル\*

福沢屋

吉五郎

一、柿二階家五坪

此税銀九分三り五毛

一、同平家五坪

同 六分五り五毛

引合  
銀壹匁六分

\*五分九り上ル\*

中嶋屋

弥右衛門

尾張屋

新兵衛

一、柿平家引合五坪

此税銀六分六厘

\*五り五毛上ル\*

一、柿平家引合九坪

此税銀壹匁貳分

\*壹分七り九毛上ル\*

式戸

印、銀壹匁九分七厘

七戸

印、銀拾六匁五分五厘

三番地主

鷹野屋

清兵衛

式番借地

伊勢屋

惣七

印、銀五匁〇五厘

\*四り三毛上ル\*

一、柿平家拾坪

一、瓦二階家六坪

此税銀九分五り四毛

一、同平家拾坪

同 壹匁壹分壹り

龜甲屋

利兵衛

一、柿平家廿貳坪七合五勺

同 貳匁九分八り

メ

此税銀壹匁三分壹厘

メ

メ

メ

ノ

引合

午十月分、閏十、十一

印 印 印

(張紙)

\*四番

九番

廿番\*

一、柿二階家七拾壹坪

此税銀拾三匁貳分七厘七毛

\*四番

九番

廿番\*

一、同平家八拾七坪

同 拾壹匁三分九厘七毛

メ銀廿四匁六分八厘

\*七厘四毛ヲ上ル\*

四番地主

永田屋

珍 平

(張紙下)

一、柿二階家廿八坪五合

此税銀五匁三分五厘

一、同平家拾六坪貳合五匁

同 貳匁壹分三厘

メ銀七匁四分六厘

九番之借地之分

一、柿平家拾七坪五合

此税銀貳匁貳分九厘三毛

一、同二階家拾坪五合

同 壹匁九分六厘四毛

メ銀四匁貳分五厘七毛

貳拾番之地

一、柿二階家三拾貳坪

此税銀五匁九分八厘四毛

一、同平家五拾三坪貳合五匁

同 六匁九分八厘

引合  
銀拾貳匁九分六厘四毛

三ヶ所

銀廿四匁六分八厘

一、柿平家拾壹坪五合

引合  
此税銀壹匁五分壹厘

\*七毛ヲ上ル\*

一、柿二階家七坪五合

此税銀壹匁四分〇三毛

一、同平家拾壹坪貳合五勺

同 壹匁四分七厘四毛

一、同物置壹坪五合

同 壹分壹厘七毛

三河屋

金五郎

盤井屋

喜兵衛

引合  
銀三匁也

\*貳匁九分九厘四毛上ル\*

三戸

印  
銀廿九匁壹分九厘

一、柿平家六拾四坪貳合五勺

引合  
此税銀八匁四分貳厘

\*壹厘七毛ヲ上ル\*

一、柿二階家拾三坪五合

此税銀貳匁五分貳厘五毛

一、同平家拾四坪貳合五勺

五番地主

三倉屋

莊太郎

万屋

長兵衛

同 壹匁八分七厘

\*六厘七毛ヲ上ル\*

引合 銀四匁四分

\*三分九厘式毛上ル\*

大黒屋

喜三郎

一、柿平家拾三坪五合

此税銀壹匁七分七厘

\*六厘九毛ヲ上ル\*

\*壹坪五合十一月廿日取壊し\*

一、同物置三坪

\*此分同断\*

同 式分三厘四毛

引合

銀式匁〇四毛

\*三毛上ル\*

\*銀壹匁五分八厘\*

三戸 \*十二月分より\*

明治三年

印 銀拾四匁八分式厘四毛

\*銀拾四匁四分\*

六番地主

岩次郎後見

丸屋

庄 吉

一、柿平家九坪

此税銀壹匁壹分八厘

\*式口\*

\*式拾坪式合五勺\*

七番之地

一、柿平家拾壹坪式合五勺

此税銀壹匁四分七厘四毛

一、瓦二階家七坪五合

同 壹匁壹分九厘三毛

一、同平家壹坪式合五勺

同 壹分三厘九毛

引合 銀四匁也

\*三匁九分八厘五毛ヲ上ル\*

七番地主

前橋屋

為三郎

八番之地

一、柿二階家三拾貳坪

同 五匁九分八り四毛

一、同平家五拾三坪五合

同 七匁\*○\*九毛

一、同稻荷社壹坪

同 七り八毛

同 銀拾三匁壹分

貳口

引合  
銀拾六匁壹分

\*六り八毛上ル\*

一、瓦二階家六拾坪

此税銀九匁五分四厘

一、同平家拾七坪貳合五勺

此税銀壹匁九分壹り五毛

引合  
銀拾壹匁五分

\*四分五り五毛上ル\*

貳戸

印  
銀拾五匁五分

八番之地主

岩田屋

昌次郎

武蔵屋

銀次郎

三番借地

一、瓦平家廿七坪

此税銀三匁也

\*貳匁九分九り七毛ヲ上ル\*

一、柿平家六坪貳合五勺

引合  
此税銀八分貳り

\*壹り九毛ヲ上ル\*

貳戸

銀拾六匁九分貳厘

印

\*五毛上ル\*

九番地主

山田屋

吉田屋

喜兵衛

藤七

一、柿平家拾貳坪五合

一、柿平家七坪

此税銀九分貳厘

引合

\*忝り七毛上ル\*

此税銀老匁六分四厘

引合

\*三り八毛\*

三戸

印 銀六匁四分六厘

上総屋

喜兵衛

一、柿二階家拾坪

此税銀老匁八分七厘

拾番地主

相木屋

惣吉

一、同平家拾三坪七合五勺

同 老匁八分〇老毛

一、同平家\*物置\*三坪

同 貳分三り四毛

一、同平家三拾四坪

同 四匁四分五り四毛

銀三匁九分老り

引合

明治三年

引合  
銀拾壹匁七分四厘七毛  
拾貳番地借

一、柿二階家拾貳坪

此税銀貳匁貳分四厘四毛

一、同平家七坪

同 九分壹厘七毛

引合  
銀三匁壹分六厘壹毛  
合

引合  
銀拾五匁也

\* 四匁九分〇八毛を上ル\*

\* 四厘壹毛上ル\*

差配人

廿貳番借地

美濃屋

安兵衛

一、柿二階家三坪五合

此税銀六分五厘五毛

一、同平家貳坪

同 貳分六厘貳毛

引合  
銀九分貳厘  
除

\* 壹厘七毛上ル\*

貳戸

引合  
銀貳匁三分七厘  
除

拾壹番借地

町医師

大村四碩

除

一、柿平家拾壹坪

引合  
此税銀壹匁四分五厘

拾貳番借地

差配人

三河屋

一、柿平家拾五坪

甚右衛門

此税銀式匁也

\* 壹匁九分六厘五毛上ル\*

銀三匁七分\*○壹り\*

\* 五毛ヲ上ル\*

河内屋

藤兵衛

一、柿平家拾坪

友次郎

大木屋

此税銀壹匁三分壹厘

一、同平家八坪

同 壹匁〇五厘

\* 四厘八毛上ル\*

一、同平家物置壹坪半

同 壹分式り

\* 壹厘七毛ヲ上ル\*

湯屋

庄 一助

銀式匁六分

\* 五分六厘八毛ヲ上ル\*

矢野屋

幸 藏

一、柿二階家拾三坪五合

此税銀式匁五分式厘五毛

一、同平家九坪

同 壹匁壹分八厘

\* 七厘九毛\*

一、柿二階家拾八坪

此税銀三匁三分七厘

引合

明治三年

\*六り六毛上ル\*

一、同平家拾八坪

同 式匁三分六り

\*五り八毛上ル\*

引合 銀五匁七分三厘

\*式り四毛上ル\*

六戸

印 銀拾五匁三分四り

式口

金壹分ト壹匁七分九り

足立屋

定吉

一、瓦二階家拾式坪式合五勺

此税銀式匁也

引合 \*壹匁九分四り八毛上ル\*

小川屋

与惣次

一、柿平家六坪七合五勺

引合 此税銀九分

\*八分八り四毛上ル\*

秩父屋

定吉

拾三番之借地

差配人

青梅屋

庄次郎

一、柿平家九坪

引合 此税銀式匁五分

\*四分八り九毛上ル\*

壹匁壹分八り

一、柿平家九坪五合

此税銀壹匁三分

引合 \*式分四り五毛上ル\*

越後屋

藤兵衛

印 銀拾貳匁五分五厘

一、柿平家拾三坪三合貳勺

此税銀壹匁七分五厘

引合 \* 四り五毛上ル \*

拾四番地主

加賀屋

五所

メ 七匁壹分三り

一、瓦二階家七坪五合

此税銀壹匁壹分九り三毛

一、同平家壹坪貳合五勺

同 壹分三り九毛

一、柿平家拾七坪五合

同 貳匁貳分九り \* 三毛 \*

一、同物置五坪五合

同 四分貳り九毛

一、同納屋五拾貳坪五合

同 三匁四分七り

五廉 \* 六り五毛上ル \*

引合

メ 銀七匁五分貳り

\* 壹り九毛上ル \*

一、瓦二階家四坪五合

此税銀七分壹り六毛

一、柿平家廿五坪七合五勺

同 三匁三分七り三毛

引合 銀四匁壹分

メ 銀四匁壹分

\* 八り九毛上ル \*

六戸

明治三年

拾五番地主

伊豆屋

五郎兵衛

一、瓦平家拾\*坪\*五合

此税銀<sup>引合</sup>壹匁分七リ

\*六リ六毛上ル\*

七リ四毛

一、柿葺平家\*物置\*三坪

此税銀<sup>引合</sup>貳分三リ四毛

メ銀壹匁四分四毛

\*与書上ル\*

一、柿平家貳拾坪

此税銀<sup>引合</sup>貳匁六分貳リ

一、同二階家六坪

同 壹匁壹分貳リ貳毛

一、同平家七坪五合

同 九分八リ三毛

メ銀四匁七分貳厘五毛

三戸

印メ銀八匁貳分九リ四毛

\*七匁七分六リ九毛\*

尾張屋

吉五郎

一、柿平家拾貳坪五合

此税銀<sup>引合</sup>壹匁六分四厘

メ <sup>引合</sup> \*三リ八毛上ル\*

拾六番地主

秩父屋清兵衛妻

やそ後見

清兵衛

中屋

弥三郎

一、柿二階家八坪五合

此税銀<sup>引合</sup>壹匁五分九リ

一、同平家廿七坪七合五勺

同 三匁六分四り

\*三り五毛上ル\*

メ銀五匁引合三分三り

\*式り五毛上ル\*

一、柿平家四拾五坪

此税銀五匁引合九分

\*八分九り五毛上ル\*

式戸

印メ銀拾壹匁叁分三厘

秩父屋

万 蔵

一、柿二階家九坪

此税銀壹匁六分八り四毛

一、同平家拾五坪五合

同 式匁〇三り

一、同二階家拾五坪

同 式匁八分〇五毛

一、同平家三拾三坪七合五勺

同 四匁四分式り式毛

\*メ柿二階廿四坪

四匁四分八り八毛

メ同平家四拾九坪式合五勺

此税銀六匁四分五り式毛\*

メ銀拾匁引合〇九分四り

杵屋

弥三郎

拾七番地主

田中屋

市右衛門

一、柿二階家九坪

此税銀壹匁六分八り三毛

一、同平家六坪五合

同 八分五り式毛

銀貳匁五分四厘 引合

\*三り五毛上ル\*

式戸

印 銀拾三匁四分八厘

印 午十月

五坪取崩此分六分五り五毛

差引極月分

銀拾貳匁八分\*三り\*

此金三朱ト三百文

四月平家四坪取壊し

此銀五分式り四毛

五月分

差 銀拾貳匁三分〇六毛

此金三朱ト貳百文

一、瓦二階家拾貳坪

此税銀壹匁九分壹厘

\*八毛上ル\*

一、同平家五拾坪

同 五匁五分五り

銀七匁五分 引合

\*四分五り八毛上ル\*

三河屋

清次郎

一、柿二階家四坪

此税銀七分四り八毛

一、同平家七坪

同 九分貳厘

\*壹り七毛上ル\*

銀壹匁七分 引合

\*六分六り五毛上ル\*

拾八番地主

田原屋

しか後見

羽生屋

武助

一、柿平家八坪

利根次郎

此税銀引合壹匁〇五り

メ \* 四り八毛 \*

三戸

[印] 銀拾匁〇貳分五厘

一、柿茸二階家六坪貳合五勺

此税銀壹匁壹分七り

\* 六り九毛上ル \*

一、同平家六坪貳合五勺

同 八分貳厘

\* 壹り九毛上ル \*

メ 銀引合貳匁也

\* 壹匁九分八り八毛上ル \*

沢屋

徳兵衛

拾九番地主

伊勢屋

久兵衛

一、柿二階家廿七坪

此税銀五匁五り

\* 四り九毛上ル \*

一、同平家拾四坪

同 壹匁八分三り四毛

メ 銀引合六匁九分

\* 八分八り三毛上ル \*

川越屋

伊三郎

一、柿平家八坪五合

此税銀壹匁壹分壹り四毛

メ 引合

中村屋

喜太郎

明治三年

一、柿平家拾坪

此税銀壹匁<sup>引合</sup>三分壹り

ノ

尾張屋

藤兵衛

一、柿平家拾貳坪貳合五勺

此税銀壹匁六分〇五毛

一、同二階家四坪

同 七分五り

\*四り八毛ヲ上ル\*

ノ銀貳匁<sup>引合</sup>三分五り三毛

水木屋

長右衛門

\*〇\*一、柿平家九坪

此税銀壹匁<sup>引合</sup>壹分八り

ノ

一、同二階家四坪

此税銀七分五り

\*四り八毛ヲ上ル\*

\*〇\*一、同平家拾七坪

同 貳匁三分三り

一、柿平家物置半坪

同 三り九毛

\*〇印ノ柿平家廿六坪

此税銀三匁四分〇六毛\*

四廉<sup>引合</sup>

ノ銀四匁三分

\*壹分九り三毛ヲ上ル\*

五戸

印ノ銀拾五匁八分八り

貳拾番地借

越後屋

清吉

一、柿二階家五坪

此税銀九分四厘

\*三り五毛ヲ上ル\*

一、同平家六坪貳合五勺

同 八分式り

\*忝り九毛上ル\*

引合  
銀忝匁八分

\*七分五り四毛上ル\*

一、瓦二階家四坪

此税銀六分四り

\*三り六毛上ル\*

一、柿平家拾坪

同 忝匁三分忝り

引合  
銀忝匁(ママ)

\*忝匁九分四り六毛上ル\*

一、柿二階家四坪

此税銀七分五り

明治三年

松ヶ根屋  
弥助後家

き  
ち

\*四り八毛上ル\*

一、同平家七坪七合五勺

同 忝匁〇式り

\*忝り五毛上ル\*

引合  
銀忝匁八分

\*七分六り三毛上ル\*

三戸

印  
銀五匁六分

甘忝番地主

伊勢屋

小左衛門

店支配人 房三郎

一、柿平家四拾式坪

此税銀五匁五分忝毛

一、瓦二階家拾四坪

同 忝匁三分三り

\*忝り六毛上ル\*

美濃屋

嘉  
七

一、同平家拾忝坪

同 忝匁三分式り忝毛

印<sup>引合</sup>銀九匁也

\*八匁九分四り九毛ヲ上ル\*

式拾貳番借地

千葉屋

文 六

一、瓦二階家五坪

此税銀七分九り五毛

一、同平家四拾三坪

同 四匁七分七り三毛

一、柿平家九坪七合五匁

同 壹匁貳分七厘七毛

銀六匁八分五り<sup>引合</sup>

\*四り五毛ヲ上ル\*

\*壹匁三分五り取壊引\*

\*差引銀〇五匁五分也\*

相川屋

のふ後見

庄三郎

一、柿平家拾坪

此税銀壹匁三分壹り<sup>引合</sup>

メ

越後屋

久五郎

一、柿二階家七坪五合<sup>引合</sup>

此税銀壹匁四分〇三毛

一、同平家五坪五合

同 七分貳厘壹毛

一、同納屋四坪

同 貳分六厘四毛

合<sup>引合</sup>銀貳匁四分

\*三分八り八毛ヲ上ル\*

遠州屋

一、柿二階家四坪五合

此税銀八分四り忝毛

一、同平家九坪七合五勺

同 忝匁式分八り

\*七り七毛ヲ上ル\*

引合  
メ銀式匁忝分式厘

\*忝り九毛ヲ上ル\*

四戸

印  
メ銀拾式匁六分八厘

\*内忝匁三分\*五\*り十一月分取壊し申候\*

差引メ銀拾忝匁三分三り

外ニ九分式り相増

メ銀拾式匁式分五り

此金三朱ト

忝匁忝分

\*廿式番地先御堀端髪結床\*

明治三年

彦兵衛

忝分忝り忝毛

一、瓦平家四坪

此税銀四分四り四毛

(裏表紙)

塩忝

町用扱所